

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 科目

教科： 国語科 科目： 現代の国語 単位数： 2 単位
対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組
教科担当者：（ 1 組： ）（ 2 組： ）（ 3 組： ）（ 4 組： ）（ 5 組： ）（ 6 組： ）
使用教科書：（ 三省堂「新 現代の国語」 ）

教科 現代の国語 の目標：
【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
単元1 わかり合うために 【知識及び技能】 言葉の特徴や使い方 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解すること。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 情報 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 読む ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 ❖異なる形式で書かれた複数の文章や、図表等を伴う文章を読み、理解したことや解釈したことをまとめて発表したり、他の形式の文章に書き換えたりする。	「伝え合いに大事なことを考える」 ●情報を読み解く 「届く言葉、届かない言葉」 ●情報を要約する 「わかりあえないことから」 「聞く力」 ●情報を関連づけてまとめる			○	【知識・技能】 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 ・主張や論拠など情報と情報との関係について理解している。 【思考・判断・表現】 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解したり、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握したりすることにに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。	○	○	○	8
単元2 確かな情報を伝えるために 【知識及び技能】 言葉の特徴や使い方 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うこと。 ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解すること。 情報 ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うこと。 【思考力、判断力、表現力等】 話す・聞く ・目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討すること。 ・自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫すること。 ❖自分の考えについてスピーチをしたり、それを聞いて、同意したり、質問したり、論拠を示して反論したりする。 ❖集めた情報を資料にまとめ、聴衆に対して発表する。	「情報はつくられる」 ●情報を吟味する 「ひとまず、信じない」 ●情報と適切につきあう 「情報を編集し、的確に発表するーパブリックスピーチ」 ●情報を適切に編集する	○			【知識・技能】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。 【思考・判断・表現】 ・目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 ・自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使ったり、目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討したりすることにに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。	○	○	○	10

1 学 期	単元3 情報を生かすために 【知識及び技能】 言葉の特徴や使い方 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うこと。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 情報 ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うこと。 【思考力、判断力、表現力等】 書く ・目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすること。 ◆調べたことを整理して、報告書や説明資料などにまとめる。	「人が死なない防災」 ●情報を集めて選ぶ 「減災学をつくる」 ●情報を整理する 「評価した情報をまとめる 一報告書」 ●情報を作りかえる		○	【知識・技能】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。 【思考・判断・表現】 ・目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 ・自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使ったり、目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討したりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。	○	○	○	8
	単元4 よりよい読み手になるために 【知識及び技能】 言葉の特徴や使い方 ウ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 エ 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 情報 イ 個別の情報と一般化された情報との関係について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 読む イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。 ◆ア 論理的な文章や実用的な文章を読み、その内容や形式について、引用や要約などをしながら論述したり批評したりする。	「読むことのレッスン」 ●情報を分析・評価する 「水の東西」 ●説明の方法を理解する 「コインは円形か」 ●さまざまな視点から情報を捉える		○	【知識・技能】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 【思考・判断・表現】 ・目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使ったり、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。	○	○	○	8

2 学 期	単元5 場に応じて伝えるために 【知識及び技能】 言葉の特徴や使い方 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うこと。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 情報 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 話す・聞く ・話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫すること。 ・論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりすること。 ◆報告や連絡、案内などのために、資料に基づいて必要な事柄を話したり、それらを聞いて、質問したり批評したりする。 ◆集めた情報を資料にまとめ、聴衆に対して発表する。	「中身当てクイズ」 ●根拠を明確にして考えを伝える 「読み比べる ―海ガメの無念」 ●表現の仕方に注意する 「構成や展開を意識して発表するープレゼンテーション」 ●相手を意識して自分の考えを伝える	○		【知識・技能】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 【思考・判断・表現】 ・話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 ・論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使ったり、話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫したりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。	○	○	○	8
	単元6 説得力を高めるために 【知識及び技能】 言葉の特徴や使い方 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解すること。 情報 ・引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使うこと。 【思考力、判断力、表現力等】 書く ・読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。 ◆読み手が必要とする情報に応じて手順書や紹介文などを書いたり、書式を踏まえて案内文や通知文などを書いたりする。	「折々のことば」 ●引用の目的やはたらきを理解する 「宝探してみたいに本の世界へ入っていきます」 ●説明の仕方を考える 「情報を整理して推薦する ―ブックトーク原稿」 ●情報を活用する	○		【知識・技能】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 ・引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。 【思考・判断・表現】 ・読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使ったり、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫したりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。	○	○	○	10

[illegible]

高等学校 令和7年度（1学年用）

教科 国語

科目 言語文化

教科：国語

科目：言語文化

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1組： ） （2組： ） （3組： ） （4組： ） （5組： ） （6組： ）

使用教科書：（三省堂「新 言語文化」 ）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数	
			話・聞	書	読						
1 学 期	【知識及び技能】 言葉の特徴や使い方 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 我が国の言語文化 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解すること。 【思考力・判断力・表現力等】 書く ・自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にすること。 ❖本歌取りや折句などを用いて、感じたことや発見したことを短歌や俳句で表したり、伝統行事や風物詩などの文化に関する題材を選んで、随筆などを書いたりする。	春を切り抜く 「フォトレポートに表す」 ●構成や描写を工夫する 入門 言葉を旅する 「千年の時間が与えてくれる安堵」 ●言語文化の現代的な価値を考える			○	【知識・技能】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 【思考・判断・表現】 ・自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使ったり、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。		○	○	○	3
	【知識及び技能】 言葉の特徴や使い方 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解すること。 我が国の言語文化 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めること。 【思考力・判断力・表現力等】 読む ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。	1 読書は生きる力 ―読書の意義について考える 「枕草子 春はあけぼの／ありがたきもの」 ●文章に表れたものの見方・考え方を捉える 「ゴール」 ●物語の解釈の多様さを考える			○	【知識・技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしたり、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。		○	○	○	8
	定期考査							○	○		1

2 学 期	【知識及び技能】 言葉の特徴や使い方 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 我が国の言語文化 ・小説の世界に親しむために、小説を読むために必要な知識について理解すること。 【思考力・判断力・表現力等】 読む ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 ・文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。 ◆作品の内容や形式について、批評したり討論したりする。	2 物語は無限に展開する ―構成や展開について考える 「羅生門」 ●物語を構成する要素を捉える。 ●物語の全体構成を捉える。 ●物語の展開を把握する	○		【知識・技能】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 【思考・判断・表現】 ・自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使ったり、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査					○	○		1
	【知識及び技能】 言葉の特徴や使い方 ・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解すること。 我が国の言語文化 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解すること。 イ 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解すること。 【思考力・判断力・表現力等】 読む ・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めること。 ・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつこと。 ◆和歌や俳句などを読み、書き換えたり外国語に訳したりすることなどを通して互いの解釈の違いについて話し合ったり、テーマを立ててまとめたりする。	3 言葉は時空をかけめぐる ―言語文化の継承と創造について考える 「伊勢物語 芥川／筒井筒」 ●物語に表れた心情表現を考える 「和歌十首 小倉百人一首より」 「短歌七首 近代・現代の短歌」 ●作品世界を豊かに想像する ●言葉と文化の関係を捉え直す	○		【知識・技能】 ・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 【思考・判断・表現】 ・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 ・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解したり、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。	○	○	○	14
2 学 期	定期考査					○	○		1
	【知識及び技能】 言葉の特徴や使い方 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解すること。 我が国の言語文化 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。 ・言文一致体や和漢混交文など歴史的な文体の変化について理解を深めること。 【思考力・判断力・表現力等】 読む ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。 ・文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。 ◆作品の内容や形式について、批評したり討論したりする。	4 人の心は万華鏡 ―人物像や心情について考える 「オムライス」 「アマガエル」 ●心情表現の多様さを捉える ●言語表現の多様さを捉える 「平家物語 木曾の最期」 ●人物像を批評する	○		【知識・技能】 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ・言文一致体や和漢混交文など歴史的な文体の変化について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解したり、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈したりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査					○	○		1

[illegible]

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 地歴公民科 科目 歴史総合

教科： 地歴公民科 科目： 歴史総合 単位数： 2 単位
対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組
教科担当者：（1 組： ） （2 組： ） （3 組： ） （4 組： ） （5 組： ） （6 組： ）
使用教科書：（ 明解 歴史総合 帝国書院 ）
教科 地歴公民科 の目標：

- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界との中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
・歴史の扉 【知識及び技能】 私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域および世界の歴史とつながっていることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わらせて、私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象と日本や日本周辺の地域および世界の歴史との関連性について考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 科目全体の学習の見通しを立て、課題を追究しようとする。	ガイダンス 歴史総合の科目特性 中学校歴史的分野の復習	【知識・技能】 私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域および世界の歴史とつながっていることを理解している。 【思考・判断・表現】 近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わらせて、私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象と日本や日本周辺の地域および世界の歴史との関連性について考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 近代化に伴う生活や社会の変容について、学習の見通しを立て、課題を追究しようとしている。	○	○	○	2
2部 近代化と私たち 5章 近代化が進む日本と東アジア 【知識・技能】 明治維新とその後の日本の変化やアジア諸国の変容について、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現力】 明治維新の歴史的な意義について、現代の日本への影響と関連付けて考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 明治維新やアジア諸国の変容が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	1 新政府の誕生 2 近代国家を目指す日本 3 日本と清の近代化と日清戦争 4 列強の中国進出と日露戦争 5 日露戦争が与えた影響	【知識・技能】 明治維新とその後の日本の変化やアジア諸国の変容について、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現力】 明治維新の歴史的な意義について、現代の日本への影響と関連付けて考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 明治維新やアジア諸国の変容が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	10
定期考査			○	○		1

1 学 期	3部 国際秩序の変化や大衆化と私たち 1章 第一次世界大戦と日本の対応 【知識・技能】 国際関係の視点を軸に、第一次世界大戦勃発から終戦までの経緯と、参戦各国の社会の変化について、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 第一次世界大戦の総力戦体制下において、列強の戦闘員・列強の非戦闘員・植民地や従属地域の人々がそれぞれどのような目的で戦争に協力したのかについて考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 勢力均衡に基づく国際秩序と大衆の戦争参加が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	1 ドイツの挑戦とバルカン半島の緊張 2 総力戦となった第一次世界大戦 3 ロシア革命と大戦の終結	【知識・技能】 国際関係の視点を軸に、第一次世界大戦勃発から終戦までの経緯と、参戦各国の社会の変化について、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 第一次世界大戦の総力戦体制下において、列強の戦闘員・列強の非戦闘員・植民地や従属地域の人々がそれぞれどのような目的で戦争に協力したのかについて考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 勢力均衡に基づく国際秩序と大衆の戦争参加が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	6
	3部 国際秩序の変化や大衆化と私たち 2章 国際協調と大衆社会の広がり 【知識・技能】 ヴェルサイユ体制によって形成された国際秩序と、国際社会や各国に生じた政治・社会・文化の変化について、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 新しい国際秩序と大衆社会の特徴について考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ヴェルサイユ体制に基づく国際秩序の成立と、20世紀前半における大衆社会の到来が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	1 ヴェルサイユ体制の成立 2 東アジアの民族自決の行方	【知識・技能】 ヴェルサイユ体制によって形成された国際秩序と、国際社会や各国に生じた政治・社会・文化の変化について、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 新しい国際秩序と大衆社会の特徴について考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ヴェルサイユ体制に基づく国際秩序の成立と、20世紀前半における大衆社会の到来が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1

2 学 期	3部 国際秩序の変化や大衆化と私たち 2章 国際協調と大衆社会の広がり 【知識・技能】 ヴェルサイユ体制によって形成された国際秩序と、国際社会や各国に生じた政治・社会・文化の変化について、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 新しい国際秩序と大衆社会の特徴について考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ヴェルサイユ体制に基づく国際秩序の成立と、20世紀前半における大衆社会の到来が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	3 中東・インドの民族自決の影響 4 ヨーロッパの復興と大衆の政治参加 5 大衆社会の出現とアメリカの繁栄 6 日本における大衆社会の形成	【知識・技能】 ヴェルサイユ体制によって形成された国際秩序と、国際社会や各国に生じた政治・社会・文化の変化について、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 新しい国際秩序と大衆社会の特徴について考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ヴェルサイユ体制に基づく国際秩序の成立と、20世紀前半における大衆社会の到来が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	3部 国際秩序の変化や大衆化と私たち 3章日本の行方と第二次世界大戦 【知識・技能】 世界恐慌から第二次世界大戦の終戦に至るまでの経緯について、大衆とマスメディアの関わりに着目しながら、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 ファシズム体制の形成から終戦に至るまで、大衆がなぜ戦争に協力していったのか考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 世界恐慌後の各国の政治的判断と、大衆の戦争協力が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	1 世界恐慌が与えた影響 2 ファシズムの台頭と拡大 3 政党政治の断絶と満州事変 4 日中戦争の始まり 5 第二次世界大戦の展開 6 戦局の悪化と被害の拡大 7 第二次世界大戦の終結とその惨禍	【知識・技能】 世界恐慌から第二次世界大戦の終戦に至るまでの経緯について、大衆とマスメディアの関わりに着目しながら、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 ファシズム体制の形成から終戦に至るまで、大衆がなぜ戦争に協力していったのか考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 世界恐慌後の各国の政治的判断と、大衆の戦争協力が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1

3 学 期	3 部 国際秩序の変化と大衆化と私たち 4 章 再出発する世界と日本 【知識・技能】 冷戦構造の形成と、国連を中心とする平和へ向けた新たな国際秩序について、日本と関連付けながら資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 国際連合を中心に、第二次世界大戦以前と以後の国際秩序を比較することで、戦争の経験が人々に何をもたらしたのかについて考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 大戦後に形成された冷戦構造と国際連合による平和維持体制が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	1 戦後の新たな国際秩序 2 冷戦の始まり 3 日本撤退後の東アジア 4 日本の改革と独立の回復	【知識・技能】 冷戦構造の形成と、国連を中心とする平和へ向けた新たな国際秩序について、日本と関連付けながら資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 国際連合を中心に、第二次世界大戦以前と以後の国際秩序を比較することで、戦争の経験が人々に何をもたらしたのかについて考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 大戦後に形成された冷戦構造と国際連合による平和維持体制が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	8
	4 部 グローバル化と私たち 1 章 冷戦で揺れる世界と日本 【知識・技能】 冷戦下の緊張と緩和の経緯と、そのなかでの日本の高度経済成長や、脱植民地化を目指す動きについて、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 冷戦下の世界と日本の動向について、政治・経済の関連や諸地域間の比較を通して多面的に考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 冷戦下における各国の動向が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	1 アメリカ・ソ連の緊張と緩和 2 冷戦下における日本の復興 3 第三勢力の形成と植民地化 4 中東戦争とパレスチナ問題	【知識・技能】 冷戦下の緊張と緩和の経緯と、そのなかでの日本の高度経済成長や、脱植民地化を目指す動きについて、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 冷戦下の世界と日本の動向について、政治・経済の関連や諸地域間の比較を通して多面的に考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 冷戦下における各国の動向が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	4 部 グローバル化と私たち 2 章 多極化する世界 【知識・技能】 冷戦下の 1960年代から80年代における各国の選択と経済成長について、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 各国の選択を比較し、「東アジアの奇跡」が起こった要因や世界史における意義について考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 冷戦下における各国の政治的・経済的選択が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	1 揺らぐアメリカと先進各国の変化 2 「経済大国」日本の模索 3 経済発展に取り組むアジア・南米諸国	【知識・技能】 冷戦下の 1960年代から80年代における各国の選択と経済成長について、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 各国の選択を比較し、「東アジアの奇跡」が起こった要因や世界史における意義について考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 冷戦下における各国の政治的・経済的選択が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	5
						合計	
						70	

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学Ⅰ

教科： 数学 科目： 数学Ⅰ 単位数： 3 単位
対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 6 組
教科担当者：（1組： ） （2組： ） （3組： ） （4組： ） （5組： ） （6組： ）
使用教科書：（ 数研出版 高等学校 数学Ⅰ ）

- 教科 数学 の目標：
- 【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ⅰ の目標：	
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表す、式、グラフを相互に関連付けて考察する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	
数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 降べきの順に整理したりすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 式の計算を簡略化することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 式の変形、整理など、よりよい方法を考察させる。	・多項式の加法と減法 ・多項式の乗法 ・因数分解	【知識・技能】 同類項をまとめたり、降べきの順に整理したりすることができる。 【思考・判断・表現】 式を1つの文字におき換え、式の計算を簡略化することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 式の変形、整理など、よりよい方法を考察しようとする。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	B 単元 【知識及び技能】 分数を循環小数で表すことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 根号を含む式の計算について、一般化して考えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 対称式の値の求め方を考察させる。	・実数 ・根号を含む式の計算	【知識・技能】 循環小数を表す記号を用いて、分数を循環小数で表すことができる。 【思考・判断・表現】 根号を含む式の計算について、一般化して考えられる。 【主体的に学習に取り組む態度】 対称式の値の求め方に興味を示し、自ら考察しようとする。	○	○	○	7
	C 単元 【知識及び技能】 1次不等式を解くことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 絶対値記号をはずす処理ができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 不等式における解の意味について、等式における解と比較して、考察させる。	・不等式の性質 ・1次不等式 ・絶対値を含む方程式・不等式	【知識・技能】 不等式における解の意味を理解し、1次不等式を解くことができる。 【思考・判断・表現】 絶対値記号を含むやや複雑な式についても、適切に絶対値記号をはずす処理ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 不等式における解の意味について、等式における解と比較して、考察しようとする。	○	○	○	7
	D 単元 【知識及び技能】 2つの集合の関係を、記号を用いて表すことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ベン図などを用いて、考察できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 命題と集合との関係について、積極的に理解させる。	・集合 ・命題と条件 ・命題と証明	【知識・技能】 集合とその表し方を理解している。また、2つの集合の関係を、記号を用いて表すことができる。 【思考・判断・表現】 ベン図などを用いて、集合を視覚的に表現して考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 命題と条件の違いや、命題と集合との関係について、積極的に理解しようとする。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1

2 学 期	A 単元 2次関数とグラフ 【知識及び技能】 2次式を平方完成した形に変形できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 2次関数の特徴について、表、式、グラフを相互に関連付けて多面的に考察することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 放物線の平行移動について考察させる。	・関数とグラフ ・2次関数のグラフ	【知識及び技能】 2次式を平方完成した形に変形できる。 【思考力、判断力、表現力等】 2次関数の特徴について、表、式、グラフを相互に関連付けて多面的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 放物線の平行移動や対称移動の一般公式を考察しようとする。	○	○	○	10
	B 単元 2次関数の値と変化 【知識及び技能】 2次関数が最大値または最小値をもつことを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 定義域が変化するときの最大値や最小値について、考察できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 2次関数の決定条件について考察させる。	・2次関数の最大・最小 ・2次関数の決定	【知識・技能】 2次関数が最大値または最小値をもつことを理解している。 【思考・判断・表現】 定義域が変化するときや、グラフが動くときの最大値や最小値について、考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 2次関数の決定条件に興味、関心をもち、考察しようとする。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	C 単元 2次方程式と2次不等式 【知識及び技能】 2次方程式の解き方を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 2次方程式が実数解や重解をもつための条件を式で示すことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 2次関数のグラフとx軸の位置関係について理解させる。 定期考査	・2次方程式 ・2次関数のグラフとx軸の位置関係 ・2次不等式	【知識・技能】 2次方程式の解き方として、因数分解、解の公式を理解している。 【思考・判断・表現】 2次方程式が実数解や重解をもつための条件を式で示すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 2次関数のグラフとx軸の位置関係を調べ、その意味を探ろうとする。	○	○	○	17
3 学 期	A 単元 三角比 【知識及び技能】 正弦、余弦、正接が求められるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 三角比の相互関係を考察することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 θ を求める際に、図を積極的に利用させる。	・三角比 ・三角比の相互関係 ・三角比の拡張	【知識・技能】 直角三角形において、正弦、余弦、正接が求められる。 【思考・判断・表現】 三平方の定理をもとに三角比の相互関係を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 三角比が与えられたときの θ を求める際に、図を積極的に利用しようとする。	○	○	○	10
	B 単元 三角比への応用 【知識及び技能】 正弦定理を用いて、三角形の辺の長さや外接円の半径が求められるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 辺の長さや角の大きさと余弦定理との関係を考察できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 三角形の内接円と面積の関係を理解させる。度数分布表、ヒストグラムについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 データの散らばりの度合いをどのように数値化するかを考察できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 変量の変換によって、平均値や標準偏差がどのように変化するか、	・正弦定理 ・余弦定理 ・正弦定理と余弦定理の応用 ・三角形の面積 ・空間図形への応用	【知識及び技能】 正弦定理を用いて、三角形の辺の長さや外接円の半径が求められる。 【思考力、判断力、表現力等】 三角形の辺の長さや角の大きさと余弦定理との関係を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 三角形の内接円と面積の関係を導こうとする。	○	○	○	13
	C 単元 データの分析 【知識及び技能】 度数分布表、ヒストグラムについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 データの散らばりの度合いをどのように数値化するかを考察できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 変量の変換によって、平均値や標準偏差がどのように変化するか、考察させる。	・データの整理 ・データの代表値 ・データの散らばりと四分位数 ・分散と標準偏差 ・2つの変量の間の関係 ・仮説検定の考え方	【知識・技能】 度数分布表、ヒストグラムについて理解している。 【思考・判断・表現】 データの散らばりの度合いをどのように数値化するかを考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 変量の変換によって、平均値や標準偏差がどのように変化するか、考察しようとする。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
							合計
							105

高等学校 令和7年度（1学年用）教科 理科 科目 科学と人間生活
 教科： 理科 科目： 科学と人間生活 単位数： 2 単位
 対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組
 教科担当者：（1組： ） （2組： ） （3組： ） （4組： ） （5組： ） （6組： ）
 使用教科書：（ 高等学校 科学と人間生活 第一学習社 ）
 教科 理科 の目標：

- 【知識及び技能】自然科学全般について、基礎的な内容を中心として知識と技能を深める。
 【思考力、判断力、表現力等】自然科学全般について、基礎的な内容を中心として理解を深め、考え方を学ぶ。
 【学びに向かう力、人間性等】自然科学全般について、基礎的な内容を中心として興味と関心を深める。

科目 科学と人間生活 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然と人間生活とのかかわり、および科学技術が人間生活に果たしてきた役割について知識と技能を深める。	自然と人間生活とのかかわり、および科学技術が人間生活に果たしてきた役割について理解を深め、考え方を学ぶ。	自然と人間生活とのかかわり、および科学技術が人間生活に果たしてきた役割について興味と関心を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 ・光の性質について知識と技能を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・光の性質について理解し、考え方を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・光の性質について興味と関心を深める。	・光の発生、速さ ・光の反射、屈折 ・光の分散、散乱	【知識及び技能】 ・光の性質について知識と技能を身に付けているか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・光の性質について理解し、考え方を身に付けているか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・光の性質について興味と関心を深めることができたか。	○	○	○	13
	定期考查			○	○		1
	B 単元 【知識及び技能】 ・光の性質について知識と技能を深める。 ・太陽と地球について知識と技能を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・光の性質について理解し、考え方を学ぶ。 ・太陽と地球について理解し、考え方を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・光の性質について興味と関心を深める。 ・太陽と地球について興味と関心を深める。	・光の回折、干渉、偏光 ・電磁波の種類とその利用 ・ヒトの生命現象と光 ・太陽と人間生活 ・天体の動き	【知識及び技能】 ・光の性質について知識と技能を身に付けているか。 ・太陽・天体について知識と技能を身に付けているか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・光の性質について理解し、考え方を身に付けているか。 ・太陽・天体について理解し、考え方を身に付けているか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・光の性質について興味と関心を深めることができたか。 ・太陽・天体について興味と関心を深めることができたか。	○	○	○	13
	定期考查			○	○		1

2 学 期	C 単元 【知識及び技能】 ・微生物の研究や分類についての知識と技能を深める。 ・微生物と食品や医薬品についての知識と技能を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・微生物の研究や分類について理解し、考え方を学ぶ。 ・微生物と食品や医薬品について理解し、考え方を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・微生物の研究や分類について興味と関心を深める。 ・微生物と食品や医薬品について興味と関心を深める。	・微生物の研究 ・微生物の分類 ・食品と微生物 ・医薬品と微生物	【知識及び技能】 ・ヒトと生命現象と光について知識と技能を身に付けているか。 ・微生物と食品や医薬品についての知識と技能を身に付けているか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ヒトと生命現象と光について理解し、考え方を身に付けているか。 ・微生物と食品や医薬品について理解し、考え方を身に付けているか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ヒトと生命現象と光について興味と関心を深めることができたか。 ・微生物と食品や医薬品について興味と関心を深めることができたか。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	D 単元 【知識及び技能】 ・食品と栄養素について知識と技能を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・食品と栄養素について理解し、考え方を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・食品と栄養素について興味と関心を深める。	・食品と栄養素 ・炭水化物、タンパク質、脂質 ・食品分野の班別調べ学習・調べマップの作製	【知識及び技能】 ・食品と栄養素について知識と技能を身に付けているか。 ・食品と栄養素のテーマ選びについて知識と技能を身に付けているか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・食品と栄養素について理解し、考え方を身に付けているか。 ・食品と栄養素のテーマ選びについて理解し、考え方を身に付けているか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・食品と栄養素について興味と関心を深めることができたか。 ・食品と栄養素のテーマ選びについて興味と関心を深めることができたか。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
3 学 期	E 単元 【知識及び技能】 ・食品と栄養素について知識と技能を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・食品と栄養素について理解し、考え方を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・食品と栄養素について興味と関心を深める。	・食品分野の調べ学習・PowerPointを用いたクラス内発表	【知識及び技能】 ・食品と栄養素について知識と技能を身に付けているか。 ・食品と栄養素の発表について知識と技能を身に付けているか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・食品と栄養素について理解し、考え方を身に付けているか。 ・食品と栄養素の発表について理解し、考え方を身に付けているか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・食品と栄養素について興味と関心を深めることができたか。 ・食品と栄養素の発表について興味と関心を深めることができたか。	○	○	○	14
	定期考査						
							合計 70

高等学校 令和7年度（1 学年用） 教科 保健体育 科目 体育

单位数： 2 单位

~ 6 組

(2組:) (3組:) (4組:) (5組:) (6組:)

育 大修館書店)

の目標：

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身に付けている。また、個人及び社会生活における健康・安全について総合的に理解しているとともに、技能を身に付けている。	自己や仲間課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝える。また、個人及び社会生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して総合的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝える。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。また、健康を大切に、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりに関する学習に主体的に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 時 数
1 学 期	A 陸上競技 【知識及び技能】 距離走では、自己に適したペースを維持して、一定の距離を走り通し、タイムを短縮したり、競走したりできるようにする。 跳躍・投てきでは、技術的要素を身に付け、記録を向上できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようということ、自己の責任を果たそうということ、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようということなどや、健康・安全を確保すること。	①短距離・リレー ②長距離 ③投てき	【知識・技能】 ①技術と関連させた運動や練習を繰り返したり、継続して行ったりすることで、結果として体力を高めることができる。 【思考・判断・表現】 ①課題解決の過程を踏まえて、自己や仲間の新たな課題を発見することができる。 ②自己や仲間の課題を解決するための練習の計画を立てることができる。 【学びに向かう力、人間性】 ①陸上競技の学習に主体的に取り組もうとすることができる。 ②一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようすることができる。	○	○	○	9
	B 単元 【知識及び技能】 ①クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。 ②平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。 ③背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐこと。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようということ、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようということなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保すること。	①クロール ②平泳ぎ ③背泳ぎ ①体ほぐし運動 ②筋力を高める運動 ③体育祭練習	【知識・技能】 ①腕を前方に伸ばし、手のひらが胸の前を通るようなキールボールの形を描くようにして腰や太ももくらいまで大きくかく動き（ロングアームプル）で進むことができる。 ②手の入水時のキック、かき終わりのときのキック及び呼吸動作を一定のリズムで行うことができる。 【思考・判断・表現】 ①選択した泳法について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 ②自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。 ③選択した泳法に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選んでいる。 【学びに向かう力、人間性】 ①水泳の学習に自主的に取り組もうとしている。 ②勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている。 ③仲間と互いに合意した役割について自己の責任を果たそうとしている。 ④一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。 ⑤水泳の事故防止の心得を遵守するなど健康・安全を確保しようとしている。 知識・技能】 ①定期的、計画的に運動を継続することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながる意義があることを理解している。 ②運動を安全に行うには、関節への負荷がかかりすぎないようにすることや軽い運動から始めるなど、徐々に筋肉を温めてから行うことを理解している。 【思考・判断・表現】 ①のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行うことを通して、気づいたり関わり合ったりすることができる。 ②リズムに乗って心が弾むような運動を行うことを通して、気づいたり関わり合ったりすることができる。 【学びに向かう力、人間性】 ①体づくり運動の学習に主体的に取り組むことができる。 ②仲間課題を伝え合うなど、互いに助け合い教え合うことができる。	○	○	○	9
	A 単元 体づくり 【知識及び技能】 ①体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気づき、仲間と自主的に関わり合うことができるようにする。 ②実生活に生かす運動の計画では、ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組むことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようということ、話合いに貢献しようということなどや、健康・安全を						

A バスケットボール 【知識及び技能】 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。 A サッカー 【知識及び技能】 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。	①パス ②ドリブル ③シュート ④ゲーム ①パス ②ドリブル ③シュート ④ゲーム	【知識・技能】 ①種目の特性や成り立ちを理解し取り組むことができる。 ②バスケットボールで高まる体力を理解している。 ③バスケットボールでの体力の高め方を理解している。 ④技術の名称や行い方を理解し、基本的なボール操作を身に付けることができる。 ⑤技術の名称や行い方を理解し、安定したボール操作で攻防することができる。 ⑥安定したボール操作と空いている場所を作り出すなどの動きでゴール前に侵入し、攻防することができる。 【思考・判断・表現】 ①自分やチームの課題を発見し、課題解決に向けて練習を工夫して実践しようとしている。 ②自分やチームで考えた事を他の人にも伝えるようとしている。 【学びに向かう力、人間性】 ①ゲームや練習に主体的に取り組む、勝敗を競う楽しさを味わうとしている。 ②ルールやマナーを守り、健康・安全に留意して学習しようとしている。 ③一人ひとりの違いに応じたプレイを認め、仲間にアドバイスしたり、助け合ったり教え合ったりしようとしている。 【知識・技能】 ①戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることを理解している。 ②サービスでは、ボールをねらった場所に打つことができる。 ③ネット付近でボールの侵入を防いだり、打ち返したりすることができる。 【思考・判断・表現】 ①選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えることができる。 ②自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性】 ①球技の学習に自主的に取り組もうとしている。 ②相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。 ③互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとしている。 【知識・技能】 ①球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイント理解している。 ②戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイント理解している。 ③ゲームに必要な技術と関連させた補助運動や部分練習を繰り返したり、継続して行ったりすることで、結果として体力を高めることができる。 ④ゴールの枠内にシュートをコントロールできる。 ⑤味方が操作しやすいパスを送ることができる。 【思考・判断・表現】 ①ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面で、よりよいマナーや行為について、自己の活動を振り返ることができる。 ②チームで分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて、自己の活動を振り返ることができる。 【学びに向かう力、人間性】 ①球技の学習に自主的に取り組むことができる ②相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。 【知識・技能】 ①戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることを理解している。 ②サービスでは、ボールをねらった場所に打つことができる。 ③ネット付近でボールの侵入を防いだり、打ち返したりすることができる。 【思考・判断・表現】 ①選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えることができる。 ②自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性】 ①球技の学習に自主的に取り組もうとしている。 ②相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。 ③互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとしている。	○	○	○	18
---	---	---	---	---	---	----

3 学 期	A ラケット種目(テニス・卓球・バドミントン) 【知識及び技能】 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。作戦などについての話し合いに貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。	①ストローク ②ボレー ③スマッシュ ④ゲーム	【知識・技能】 ①戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることを理解している。 ②サーブでは、ボールをねらった場所に打つことができる。 ③ネット付近でボールの侵入を防いだり、打ち返したりすることができる。 【思考・判断・表現】 ①選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えることができる。 ②自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性】 ①球技の学習に自主的に取り組もうとしている。 ②相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。 ③互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとしている。	○	○	○	18
	A 陸上競技 【知識及び技能】 距離走では、自己に適したペースを維持して、一定の距離を走り通し、タイムを短縮したり、競走したりできるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする。自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする。健康・安全を確保すること。	①長距離走	【知識・技能】 ①技術と関連させた運動や練習を繰り返したり、継続して行ったりすることで、結果として体力を高めることができる。 ②リズムカルに腕を振り、力みのないフォームで軽快に走ることができることを理解している。②呼吸を楽にしたり、走りのリズムを作ったりする呼吸法を取り入れ走ることができる。 【思考・判断・表現】 ①課題解決の過程を踏まえて、自己や仲間の新たな課題を発見することができる。 ②自己や仲間の課題を解決するための練習の計画を立てることができる。 【学びに向かう力、人間性】 ①陸上競技の学習に主体的に取り組もうとすることができる。 ②一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようすることができる。	○	○	○	9
	A 体育理論 【知識及び技能】 スポーツは、人類の歴史とともに始まり、その理念が時代に応じて多様に変容してきていること。また、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあること。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むこと。	① ライフステージにおけるスポーツの楽しみ方 ②ライフスタイルに応じたスポーツとの関わり方 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むこと。	【知識・技能】 ①スポーツは、人類の歴史とともに世界各地で日常の遊びや生活などから生まれてきたこと、近代になって、スポーツは娯楽から競技に変化し、一般の人びとに広がっていったこと、現代では、競技だけでなく、広く身体表現や身体活動を含む概念としてスポーツが用いられるようになってきており、その理念が時代に応じて多様に変容してきていることを理解している。 【思考・判断・表現】 ①スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスポーツの意義や価値について、事実や理念を整理したり、自己のスポーツへの関わりを見いだしたりして、自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を発見することができる。 【学びに向かう力、人間性】 ①豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に、主体的に取り組もうとすることができる。	○	○	○	7 合計 70

高等学校 令和7年度（1 学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教 科： 保健体育 科 目： 保健 単位数： 1 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1 組： 2 組： 3 組： 4 組： 5 組： 6 組： ）

使用教科書：（ 現代高等保健体育 大修館書店 ）

教科 保健体育 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	【知識・技能】 国民の健康課題について、我が国の死亡率、受療率、平均寿命、健康寿命など各種の指標や疾病構造の変化を通して理解する。 健康水準、及び疾病構造の変化には、科学技術の発達、及び生活様式や労働形態を含む社会の状況が関わっていることについて理解する。 【思考・判断・表現】 現代社会と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代社会と健康における事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見する。	日本における健康課題の変遷 健康の考え方と成り立ち ヘルスプロモーションと健康に関わる環境づくり 健康に関する意思決定・行動選択 現代における感染症の問題 感染症の予防 性感染症・エイズとその予防	【知識・技能】 国民の健康課題について、我が国の死亡率、受療率、平均寿命、健康寿命など各種の指標や疾病構造の変化を通して理解している。 健康水準、及び疾病構造の変化には、科学技術の発達、及び生活様式や労働形態を含む社会の状況が関わっていることについて理解している。 健康水準の向上、疾病構造の変化に伴い、個人や集団の健康についての考え方も変化してきていることについて理解している。このことを、疾病や症状の有無を重視する健康の考え方や、生活の質や生きがいを重視する健康の考え方などを例として理解している。 【思考・判断・表現】 免疫、遺伝、生活行動などの主体要因と、自然、経済、文化、保健・医療サービスなどの環境要因が互いに影響し合いながら健康の成立に関わっていることについて理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代社会と健康における事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見することができる。 国民の健康課題、健康の考え方と成り立ち、健康の保持増進のための適切な意思決定や行動選択と環境づくりについて、課題の解決に向けての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	【知識・技能】 がん、脳血管疾患、虚血性心疾患、高血圧症、脂質異常症、糖尿病などを適宜取り上げ、これらの生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることを理解する。 【思考・判断・表現】 生活習慣病などの予防と回復について、習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し、リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会的な対策を整理する。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活習慣病などの予防と回復について、課題の解決に向けての学習に主体的に取り組む。	生活習慣病の予防と回復 身体活動・運動と健康 食事と健康 休養・睡眠と健康 がんの予防と回復	【知識・技能】 がん、脳血管疾患、虚血性心疾患、高血圧症、脂質異常症、糖尿病などを適宜取り上げ、これらの生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることを理解している。 【思考・判断・表現】 生活習慣病などの予防と回復について、習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し、リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会的な対策を整理することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活習慣病などの予防と回復について、課題の解決に向けての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	6

	【知識・技能】 喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねることを理解する。 また、喫煙や飲酒による健康課題を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観の育成などの個人への働きかけ、及び法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることを理解する。 コカイン、MDMAなどの麻薬、覚醒剤、大麻、など、薬物の乱用は、心身の健康、社会の安全などに対して深刻な影響を及ぼすことから、決して行ってはならないことを理解する。また、薬物乱用を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観や規範意識の育成などの個人への働きかけ、及び法的な規制や行政的な対応など社会環境への対策が必要であることを理解する。 【思考・判断・表現】 喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、我が国のこれまでの取組を個人への働きかけと社会環境への対策の面から分析したり、諸外国と比較したりして、防止策を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 喫煙、飲酒の健康、薬物乱用と健康について、課題の解決に向けての学習に主体的に取り組む。	喫煙と健康 飲酒と健康 薬物乱用と健康	【知識・技能】 喫煙、飲酒と健康 喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねることを理解している。 また、喫煙や飲酒による健康課題を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観の育成などの個人への働きかけ、及び法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることを理解している。 薬物乱用と健康 コカイン、MDMAなどの麻薬、覚醒剤、大麻、など、薬物の乱用は、心身の健康、社会の安全などに対して深刻な影響を及ぼすことから、決して行ってはならないことを理解している。 また、薬物乱用を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観や規範意識の育成などの個人への働きかけ、及び法的な規制や行政的な対応など社会環境への対策が必要であることを理解している。 【思考・判断・表現】 喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、我が国のこれまでの取組を個人への働きかけと社会環境への対策の面から分析したり、諸外国と比較したりして、防止策を評価することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 喫煙、飲酒の健康、薬物乱用と健康について、課題の解決に向けての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
2 学 期	【知識・技能】 精神疾患の予防と回復には、身体、心身の健康と同じく、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた生活を実践すること、早期に心身の不調に気付くこと、心身に起こった反応については体ほぐしの運動などのリラクゼーションの方法でストレスを緩和することなどが重要であることを理解する。 心身の不調時には、不安、抑うつ、焦燥、不眠などの精神活動の変化が、通常時より強く、持続的に生じること、心身の不調の早期発見と治療や支援の早期の開始によって回復可能性が高まることを理解する。 人々が精神疾患について正しく理解するとともに、専門家への相談や早期の治療などを受けやすい社会環境を整えることが重要であること、偏見や差別の対象ではないことなどを理解する。 【思考・判断・表現】 精神疾患の予防と回復について、習得した知識を基に、心身の健康を保ち、不調に早く気付くために必要な個人の取組や社会的な対策を整理する。 【主体的に学習に取り組む態度】 精神疾患の特徴、精神疾患への対処について、課題の解決に向けての学習に主体的に取り組む。	精神疾患の特徴 精神疾患への対応	【知識・技能】 精神疾患の予防と回復には、身体、心身の健康と同じく、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた生活を実践すること、早期に心身の不調に気付くこと、心身に起こった反応については体ほぐしの運動などのリラクゼーションの方法でストレスを緩和することなどが重要であることを理解している。 心身の不調時には、不安、抑うつ、焦燥、不眠などの精神活動の変化が、通常時より強く、持続的に生じること、心身の不調の早期発見と治療や支援の早期の開始によって回復可能性が高まることを理解している。 自殺の背景にはうつ病をはじめとする精神疾患が存在することもあることを理解している。 人々が精神疾患について正しく理解するとともに、専門家への相談や早期の治療などを受けやすい社会環境を整えることが重要であること、偏見や差別の対象ではないことなどを理解している。 【思考・判断・表現】 精神疾患の予防と回復について、習得した知識を基に、心身の健康を保ち、不調に早く気付くために必要な個人の取組や社会的な対策を整理することができる。 現代社会と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 精神疾患の特徴、精神疾患への対処について、課題の解決に向けての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	6

3 学 期	【知識・技能】 事故の現状と発生要因 事故は、地域、職場、家庭、学校など様々な場面において発生していること、事故の発生には、周りの状況の把握及び判断、行動や心理などの人的要因、気象条件、施設・設備、車両、法令、制度、情報体制などの環境要因などが関連していることを理解する。 【思考・判断・表現】 安全な社会生活における事象や情報などについて、安全に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 事故の現状と発生要因、安全な社会の形成、交通安全について、課題の解決に向けての学習に主体的に取り組む。	事故の現状と発生要因 交通事故防止の取り組み 安全な社会の形成	【知識・技能】 事故の現状と発生要因 事故は、地域、職場、家庭、学校など様々な場面において発生していること、事故の発生には、周りの状況の把握及び判断、行動や心理などの人的要因、気象条件、施設・設備、車両、法令、制度、情報体制などの環境要因などが関連していることを理解している。 安全な社会の形成 事故を防止したり事故の発生に伴う傷害等を軽減したりすることを目指す安全な社会の形成には、交通安全、防災、防犯などを取り上げて、法的な整備などの環境の整備、環境や状況に応じた適切な行動などの個人の取組、及び地域の連携などが必要であることを理解している。 交通安全 交通事故を防止するには、自他の生命を尊重するとともに、自分自身の心身の状態や周りの環境、車両の特性などを把握すること、及び個人の適切な行動、交通環境の整備が必要であることを理解できるようにする。また、交通事故には補償をはじめとする法的責任などが生じることを理解している。 【思考・判断・表現】 安全な社会生活における事象や情報などについて、安全に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見することができる。 安全な社会づくりについて、様々な事故や災害の事例から、安全に関する情報を整理し、環境の整備に応用することができる。 交通安全について、習得した知識を基に、事故につながる危険を予測し回避するための自他や社会の取組を評価することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 事故の現状と発生要因、安全な社会の形成、交通安全について、課題の解決に向けての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	【知識・技能】 適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を防いだり、傷病者の苦痛を緩和したりすることを理解する。 日常生活で起こる傷害や、熱中症などの疾病の際には、それに応じた体位の確保・止血・固定などの基本的な応急手当の方法や手順があることを、実習を通して理解する。 心肺停止状態においては、急速に回復の可能性が失われつつあり、速やかな気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED（自動体外式除細動器）の使用などが必要であること、及び方法や手順について、実習を通して理解する。 【思考・判断・表現】 習得した知識や技能を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて、悪化防止のための適切な方法に応用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 応急手当の意義、日常的な応急手当、心肺蘇生について、課題の解決に向けての学習に主体的に取り組もうとしている。	応急手当の意義と救急医療体制 心肺蘇生法 日常的な応急手当	【知識・技能】 応急手当の意義 適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を防いだり、傷病者の苦痛を緩和したりすることを理解している。 自他の生命や身体を守り、不慮の事故災害に対応できる社会をつくるには、一人一人が適切な連絡・通報や運搬も含む応急手当の手順や方法を身に付けるとともに、自ら進んで行う態度が必要であること、さらに、社会の救急体制の整備を進めること、救急体制を適切に利用することが必要であることを理解している。 日常的な応急手当 日常生活で起こる傷害や、熱中症などの疾病の際には、それに応じた体位の確保・止血・固定などの基本的な応急手当の方法や手順があることを、実習を通して理解している。 実際に応急手当ができる。 心肺蘇生法 心肺停止状態においては、急速に回復の可能性が失われつつあり、速やかな気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED（自動体外式除細動器）の使用などが必要であること、及び方法や手順について、実習を通して理解している。 AEDなどを用いて心肺蘇生法ができる。 【思考・判断・表現】 応急手当について、習得した知識や技能を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて、悪化防止のための適切な方法に応用することができる。 安全な社会生活について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明ができる。 現代社会と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 応急手当の意義、日常的な応急手当、心肺蘇生について、課題の解決に向けての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
							合計
							36

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 芸術 科目 音楽Ⅰ

教科：芸術

科目：音楽Ⅰ

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～6組

教科担当者：（1.2組： ）（3.4組： ）（5.6組： ）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書：（MOUSA1 教育芸術社 ）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】音楽の文化的・歴史的背景などとの関わりや音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに音楽表現を創意工夫したり音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】主体的・協動的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、音楽文化を尊重し、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

科目 音楽Ⅰ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協動的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創						
1 学 期	A 独唱 【知識及び技能】 曲唱と歌詞との関わりについて理解する。創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、楽曲にふさわしい発声、歌詞の発音などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 旋律や声の音色を理解して、どのように歌唱表現するかについて表現意図をもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 曲にふさわしい発声に関心をもち、主体的・協動的に歌唱の活動に取り組む。	①校歌 ②花は咲く	○			○	【知識及び技能】 曲唱と歌詞との関わりについて理解している。創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、楽曲にふさわしい発声、歌詞の発音などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 旋律や声の音色を理解して、どのように歌唱表現するかについて表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 曲にふさわしい発声に関心をもち、主体的・協動的に歌唱の活動に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	B ギター独奏口 【知識及び技能】 曲想とギターの基本的な奏法との関わりについて理解する。楽曲にふさわしい奏法などの技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 音色や和音の響きを知覚し、それらの働きを感じながら、どのように演奏するかについて表現意図をもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 ギター独奏に関心をもち、主体的・協動的に器楽の活動に取り組む。	①キラキラ星 ②ぶんぶんぶん ③ハッピーバースディ				○	【知識及び技能】 曲想とギターの基本的な奏法との関わりについて理解している。楽曲にふさわしい奏法などの技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 音色や和音の響きを知覚し、それらの働きを感じながら、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 ギター独奏に関心をもち、主体的・協動的に器楽の活動に取り組んでいる。	○	○	○	14
	C ミュージカル鑑賞 【知識及び技能】 作品の楽曲の特徴や作品の時代背景、舞台作品としての表現方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 リズムと旋律の関係を知覚して、それらの働きを感じ、音楽の美しさや特徴をとらえる。 【学びに向かう力、人間性等】 物語や登場人物、それぞれのナンバーに関心をもち、主体的・協動的に歌唱や鑑賞の活動に取り組む。	ミュージカル映画 「天使にラブソングを1」				○	【知識及び技能】 作品の楽曲の特徴や作品の時代背景、舞台作品としての表現方法を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 リズムと旋律の関係を知覚して、それらの働きを感じ、音楽の美しさや特徴をとらえることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 物語や登場人物、それぞれのナンバーに関心をもち、主体的・協動的に歌唱や鑑賞の活動に取り組もうとしている。	○	○	○	2

2 学 期	D 世界の歌 【知識及び技能】 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解する。創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、楽曲にふさわしい発声、言葉の特徴をとらえた発音などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 旋律や歌詞と楽曲の美しさとの関わりについて考え、どのように歌唱表現するかについて表現意図をもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の歌曲に興味関心をもち、楽曲の雰囲気をもって、主体的・協働的に歌唱活動に取り組む。	① 0 sole mio ②Heidenröslein ③おお シャンゼリゼ ④茉莉花 ⑤アリラン	○	○	D 世界の歌 【知識及び技能】 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、楽曲にふさわしい発声、言葉の特徴をとらえた発音などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 旋律や歌詞と楽曲の美しさとの関わりについて考え、どのように歌唱表現するかについて表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の歌曲に興味関心をもち、楽曲の雰囲気をもって、主体的・協働的に歌唱活動に取り組んでいる。	○	○	○	10	
	E キーボード独奏 【知識及び技能】 音階の並びや和音を弾いたときの響きや音型の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解する。創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 音色やリズム、旋律、和音の関係を知覚し、それらの動きを感じ、特徴をとらえてどのように音楽を作り出し、自ら表現するかについて表現意図をもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 キーボードの演奏に興味関心をもち、主体的・協働的に練習に取り組む。	歓喜の歌	○	○	【知識及び技能】 音階の並びや和音を弾いたときの響きや音型の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 音色やリズム、旋律、和音の関係を知覚し、それらの動きを感じ、特徴をとらえてどのように音楽を作り出し、自ら表現するかについて表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 キーボードの演奏に興味関心をもち、主体的・協働的に練習に取り組んでいる。	○	○	○	14	
	F ミュージカル鑑賞 【知識及び技能】 作品の特徴や文化的背景を理解し、楽曲の良さを感じ取る。 【思考力、判断力、表現力等】 物語の内容、登場人物の心情、曲想と歌詞の関わりを理解しながら鑑賞する。 【学びに向かう力、人間性等】 豊かな表現方法を分析し、多角的な演奏法を身に付ける。	ミュージカル映画 「ハイスクールミュージカル1」	○	○	【知識及び技能】 作品の特徴や文化的背景を理解し、楽曲の良さを感じ取ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 物語の内容、登場人物の心情、曲想と歌詞の関わりを理解しながら鑑賞することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 豊かな表現方法を分析し、多角的な演奏法を身に付けている。	○	○	○	2	
3 学 期	G 合唱 【知識及び技能】 曲想と楽曲の構造との関わりについて理解する。楽曲にふさわしい発声などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 互いに声の響きを感じ取りながら、どのように演奏するかについて表現意図をもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 合唱に興味関心をもち、主体的・協働的に演奏活動に取り組む。	3部合唱 心の瞳	○	○	【知識及び技能】 曲想と楽曲の構造との関わりについて理解する。楽曲にふさわしい発声などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 互いに声の響きを感じ取りながら、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 合唱に興味関心をもち、主体的・協働的に演奏活動に取り組んでいる。	○	○	○	7	
	E キーボード独奏 【知識及び技能】 音階の並びや和音を弾いたときの響きや音型の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解する。創意工夫を生かした応用的な器楽表現をするために必要な、表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 音色やリズム、旋律、和音の関係を知覚し、それらの動きを感じ、特徴をとらえてどのように音楽を作り出し、自ら表現するかについて応用的な表現意図をもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 キーボードの演奏に興味関心をもち、主体的・協働的に練習に取り組む。	夏祭り	○	○	【知識及び技能】 音階の並びや和音を弾いたときの響きや音型の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。創意工夫を生かした応用的な器楽表現をするために必要な、表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 音色やリズム、旋律、和音の関係を知覚し、それらの動きを感じ、特徴をとらえてどのように音楽を作り出し、自ら表現するかについて応用的な表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 キーボードの演奏に興味関心をもち、主体的・協働的に練習に取り組んでいる。	○	○	○	7	
	I 創作 【知識及び技能】 日本音階を理解し、陰音階を使用して即興的な旋律を創作する。 【思考力、判断力、表現力等】 どのように創作すると表現が増すのか、工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに創作した曲を聴きあいながら、主体的・協働的により良い創作活動となるよう取り組む。	打楽器小物を用いた音素材での創作	○	○	【知識及び技能】 打楽器小物を使用して即興的な旋律を創作できる。 【思考力、判断力、表現力等】 どのように創作すると表現が増すのか、工夫できる。 【学びに向かう力、人間性等】 互いに創作した曲を聴きあいながら、各自異なる主体的・協働的により良い創作活動となるよう取り組むことができる。	○	○	○	4	
										合計
										70

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A キャラクターデザイン 「オリジナルキャラクターをつくる」 【知識及び技能】 ・立体表現を意識した三次元的な要素の働き ・粘土表現の知識・技術 【思考力、判断力、表現力等】 ・主題の追求、創造的な表現 ・表現方法の創意工夫 ・自分の考えを伝える力 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に学習に取り組む態度 ・計画性をもって取り組む力 ・指摘した点を改善させる	【指導事項・内容】 ・主題で扱う素材の知識確認 ・主題で扱う基本的な技術の習得 ・キャラクター設定 ・アイデアスケッチから完成までのイメージ確認 ・芯棒の効果 ・実制作、また完成への工夫 【教材】 ・ワークシート ・針金 ・粘土(2種類) ・木製土台 他	【知識及び技能】 (ワークシート制作・作品) ・人体表現における人体構造の把握と粘土の特性を活かして立体表現をしている ・効果的な「動き」の追求 【思考力、判断力、表現力等】 (ワークシート制作・作品) ・キャラクター設定の追求、創造的な表現 ・積極的に機材・用具を使用して客観的な「動き」の改善 ・配色や構成の工夫 【学びに向かう力、人間性等】 (出席・態度) ・主体的に表現の創造活動に取り組もうとしている ・計画的な制作(ワークシート制作) ・細部まで丁寧な作業	○	○	○	26
2 学期	B 平面（色彩）構成 「テーマに沿った効果的な配色」 【知識及び技能】 ・色彩の基礎 ・配色の理解 ・色彩表現の知識、技能 【思考力、判断力、表現力等】 ・課題の理解 テーマを自分で決定し、配色の理由が述べられるようにする。 自分の「テーマ」を伝えるために使用する色を考えさせる。 効果的に色彩を対比させ、美しい作品を制作させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に学習に取り組む態度 ・計画性をもって取り組む力 ・指摘した点を改善させる	【指導事項・内容】 ・主題で扱う素材の知識確認 ・主題で扱う基本的な技術の習得 ・課題（ルール）の理解させる ・「伝わる」とについて ・適切な色彩を選択、完成に向け効果的な提案を行う。 【教材】 ・ワークシート ・画用紙 ・画材一式 他	【知識及び技能】 (ワークシート制作・作品) ・課題の正しい理解 ・道具を正しく丁寧に扱い美しく仕上げている。 【思考力、判断力、表現力等】 (ワークシート制作・作品) ・テーマの決定、配色の理由が述べられる。 ・「テーマ」が伝わる色を選択している。 ・効果的な色彩の対比をしている。 【学びに向かう力、人間性等】 (出席・態度) ・計画的で主体的な制作 ・丁寧な作業 ・追求（修正の繰り返し）	○	○	○	26
3 学期	C モビールの制作 【知識及び技能】 ・彫刻の三要素の理解 ・用具・素材の理解 【思考力、判断力、表現力等】 ・モビールの特性（動く）を生かした創造的な表現（バランス） ・フォルムの構成の創意工夫 ・配色や模様の追求 ・用具の正しい使用 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に学習に取り組む態度 ・計画性をもって取り組む力 ・指摘した点を改善させる ・試作を繰り返す	【指導事項・内容】 求 ・「美しい」形（フォルム）の追求 ・バランスと構成の追求 【教材】 ・ワークシート ・紙 ・糸 ・竹ひご など	【知識及び技能】（作品） ・フォルムとバランスの追求 ・用具の正しい使用と積極的な工夫 【思考力、判断力、表現力等】（作品） 思考力 ・イメージの追求：自分が考える「美しい形（フォルム）」 判断力 ・バランスを考えた形の組み合わせ ・形に対する適切な大きさ、色彩の追求 ・客観的な「動き」の改善 表現力 ・配色や模様、構成の工夫 【学びに向かう力、人間性等】（出席・態度） ・試作の修正を繰り返すことでイメージに近い近づけようとしている ・丁寧な作業による高い完成度	○	○	○	18 合計 70

高等学校 令和7年度（1学年用）教科 芸術 科目 書道Ⅰ

单位 2

~ 6 組

(6組:)

I

の目標：芸術に親しむ心を養い感性を豊かにし、書の良さや美しさを感じ取り、情操を豊かにする。

芸術に関する
にする。

創造的な系

生涯にわた

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
感性を豊かにし、書を愛好し、書の良さや美しさを感じ取り、創造的な表現を工夫し、書写能力高め、意欲的・主体的に表現や鑑賞の活動を行い、その喜びを味わおうとする。	書の効用や表現を幅広く理解し、自己を主体的に表現するために、基礎的な技能を身につけている。	書が生活の中で果たしている役割、書の文化や伝統を幅広く理解し、実用的な表現や芸術的な表現の基礎的な技能を身につけている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			漢 仮	漢	仮						
1 学 期	用筆・運筆から生み出される書の表現性とその表現効果との関わりについて理解している	硬筆『学校』 筆順テスト 自分の氏名		○		○	○漢字に興味を持ち、その成り立ち、筆順・部首・部首名の知識を身につけている。 ○漢字の象形を考え、意味・内容を考えている。 ○漢字の成り立ちに興味を持ち、自分の名前 の成り立ちを主体的に調べ、意味を理解している。	○	○	○	8
	書を構成する要素についてそれらの祖語の関連がもたらす働きと関わらせて理解している	楷書体基本用筆 『三川』『人口』『元水』『日月』			○		○表現技法の基礎・基本を身につけ、書写能力の向上に努めている。 ○古典の美と、その技法に関心を持ち、表現技法を高めようとしている。 ○自らの感性や自発的な意図に基づいて、字形・全体の構成の工夫に取り組んでいる。 ○字形や線質と筆者の感興と意図との関わりに関心を持ち、意欲的に古典の美とその技法を学んでいる。 ○漢字の書の意欲的な表現活動を通して、意図的・主体的に表現の構想から完成に至るまでの充実感や喜びを味わっている。	○	○	○	8
	書体や書風と用筆・運筆との関りについて理解している	臨書 孔子廟堂碑「天河」 九成宮醴泉銘「清泉」 雁塔聖教序「春光」			○		○漢字の書の美に対する感性を養い、意図に基づく表現の構想を工夫している。 ○古典の美とその技法を学び、普遍性のある表現力を身につけている。 ○漢字の書の構造的な構造や変化と統一などを理解し、字形全体の構成を工夫している。 ○自己の表現のねらいを達成する為に、古典の持つ伝統的な美を感じし表現方法を工夫している。	○	○	○	10
	古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身につけている	臨書 顔氏家廟碑「守道」 牛嶺造像記「妙楽」 鄭義下碑「」			○		○基本的な点画や線質の表し方と、用筆・運筆の関係を把握している。 ○漢字の書の構造的な構造、変化と統一などを理解し、字形・全体の構成を工夫している。 ○自己の表現のねらいを達成するために古典の持つ伝統的な美を感じし、表現方法を工夫している。	○	○	○	8

2 学 期	古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身につけている	行書体臨書 王羲之『蘭亭序』 半切臨書 自由課題 色紙		○	○	基本的な用具・用材に関する知識や扱い方を身につけ、用具・用材と表現との関係に関心を持っている。 ○漢字の行書体に関心を持ち、意欲的・主体的に表現や鑑賞の活動を行っている。 ○漢字の行書体の字形について関心を高め、自らの構想に基いて意欲的・主体的に活動を行っている。	○	○	○	10
	・書を構成する要素についてそれらの祖語の関連がもたらす働きと関わらせて理解している ・古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身につけている	行書体臨書 王羲之『蘭亭序』 「和暢」 「宇宙」 「之大」 半切臨書 自由課題 色紙	○	○		○用具・用材の特性を活かした表現効果を理解し、表現に応じた用具・用材を選択している。 ○実用的な表現や芸術的な表現の幅を広げ、漢字の行書体の技能を身につけている。 ○文字や文字群と余白との関係を理解し、全体の構成を考えた創造的な表現をしている。	○	○	○	10
3 学 期	用筆・運筆から生み出される書の表現性とその表現効果との関わりについて理解している	仮名・いろは歌 「われね」「はにほけ」「ぬのあめ」「へつやてせず」 いろは歌前半・後半・全体		○		○用具・用材の特性を活かした表現効果を理解し、表現に応じた用具・用材を選択している。 ○実用的な表現や芸術的な表現の幅を広げ、漢字の行書体の技能を身につけている。 ○文字や文字群と余白との関係を理解し、全体の構成を考えた創造的な表現をしている。	○	○	○	8
	基礎的な技能を身につけ表現している	作品集制作・返却 一年を通しての感想及び発表		○		○表現の構想から完成に至るまでの充実感や喜びの体験を通して、主体的に自己実現を果たしていく態度が身についている。 ○目的や用途に即した形式と表し方を判断し、文字の大きさ・配列などそれぞれに適した表現を工夫している。 ○芸術的な表現や実用的な表現に応じた形式と表し方を理解する。	○	○	○	8
										合計
										70

高等学校 令和7年度（1 学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅠ

教科： 外国語 科目： 英語コミュニケーションⅠ 単位数： 3 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1 組： ）（2 組： ）（3 組： ）（4 組： ）（5 組： ）（6 組： ）

使用教科書：（ My Way English CommunicationⅠ（三省堂） ）

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】音声や語彙、表現、文法、言語の理解を深め、実際の場面で適切に活用できる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】日常的な話題や社会的な話題について情報や考えの要点を理解し、適切に表現できる技能を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】外国語の背景にある文化を理解し、相手に配慮しながら主体的に外国語を用いる態度を身につける。

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きを理解し、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につける。	コミュニケーションを行う目的に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどを話し手や書き手の意図などを的確に理解しながら表現する技能を身につける。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図る態度を身につける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 （や）	話 （発）	書					
1 学 期	Lesson1: Proverbs Around the World 【知識及び技能】 世界各地の特徴的なことわざについて学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 各地のことわざの共通点や違いを意識し、ことばと文化のつながりについて考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ことわざについてやり取りをする	・指導事項 現在形・過去形・進行形 ・教材 教科書や音声データ ・一人1台端末の活用 等	○	○	○		○	【知識及び技能】 世界各地の特徴的なことわざについて学んでいる。 【思考力、判断力、表現力等】 各地のことわざの共通点や違いを通して、ことばと文化のつながりについて考えている。 【学びに向かう力、人間性等】 新たに知った慣用表現を使ってやり取りできている。	○	○	○	10
	Lesson2: Iwago Mitsuaki 【知識及び技能】 写真家岩合さんの生き方や考え方について学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 人間は動物から学ぶべきだというメッセージについて考える 【学びに向かう力、人間性等】 図書室に飾る写真についてやり取りし、発表する	・指導事項 助動詞・受身形 ・教材 教科書や音声データ ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 写真家、岩合光昭の生き方や考え方を学び、絶滅から動物を守る撮影プロジェクトについて学んでいる。 【思考力、判断力、表現力等】 人間は動物から学ぶべきだというメッセージについて考え、動物保護の方法について考えている。 【学びに向かう力、人間性等】 動物を救うためにできることについてやり取りしている。	○	○	○	10
	定期考査		○	○			○		○	○		1
	Lesson3: Sending canned Mackerel to Space 【知識及び技能】 新しい宇宙食を高校生が開発した経緯について学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 宇宙食の特徴と高校生の創意工夫を理解し、自分たちの可能性について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 宇宙で食べたい日本の食べ物についてやりとりし、発表する。	・指導事項 動名詞・to不定詞 ・教材 教科書や音声データ ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	【知識・技能】 新しい宇宙食を高校生が開発した経緯について学んでいる。 【思考・判断・表現】 宇宙食の特徴と高校生の創意工夫をりかいし、自分たちの可能性について考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 宇宙で食べたい日本のたべものについてやりとりし、発表ができている。	○	○	○	10
	Lesson4: Messages from Winnie-the-Pooh 【知識及び技能】 「クマのプーさん」に込められたメッセージについて学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 友情についての普遍的なメッセージを読み、文学作品への興味を高める。 【学びに向かう力、人間性等】 日本の物語についてやり取りをする。	・指導事項 現在完了形・現在進行形 ・教材 教科書や音声データ ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	【知識・技能】 「クマのプーさん」に込められたメッセージについて学んでいる。 【思考・判断・表現】 友情についての普遍的なメッセージを読み、文学作品への興味を高めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 紹介する日本の物語についてやり取りをしている。	○	○	○	10
	定期考査		○	○			○		○	○		1

[illegible]

高等学校 令和7年度（1学年用）

教科 家庭

科目 家庭基礎

教科：家庭

科目：家庭基礎

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1組： ） （2組： ） （2組： ） （4組： ） （5組： ） （6組： ）

使用教科書：（ 高等学校 家庭基礎 持続可能な未来をつくる（第一学習社） ）

教科 家庭

の目標：

【知識及び技能】人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】価値・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

科目 家庭基礎

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な知識と、それらに係る技能を身に付けている。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A これからの生き方と家族 【知識及び技能】 生涯を見通しながら、様々な生活課題に対応して適切に意思決定し、責任を持って行動することが重要であることへの理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 現代の家族の特徴、家庭の機能と家族関係、家庭を支える労働、家族・家庭の意義や社会とのかわり、男女が協力して家庭を築く都の重要性について考える 【主体的に学習に取り組む態度】 現在の自分のこと、将来の生活設計を考えることについて、意欲を持って取り組もうとしている。結婚や家族について、自分とどう関わっているのか、興味・関心を持っている。	・生涯の生活設計 ・家族・家庭と社会のかかわり	【知識・技能】 自分や人の一生についての考えをまとめることができる。結婚、家族・家庭の多様化や、時代と共に変化する役割について理解できる。 【思考・判断・表現】 人生の各ライフステージの特徴と課題について知り、社会状況を考えながら、自分の生活や将来について考えを深め、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 現在の自分のこと、将来の生活設計を考えることについて、意欲を持って取り組もうとしている。結婚や家族について、自分とどう関わっているのか、興味・関心を持っている。	○	○	○	10
	B 衣生活を作る 【知識及び技能】 TPOを考えた着装ができる。衣服製作を通して、衣服の構成や基礎的な縫製技術を身につける。衣服素材の種類と特徴、衣服素材について理解し、用途に応じた素材の選択ができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 私たちの衣生活が環境や世界とどのようにつながっているのかを理解する 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の衣生活について関心を持ち、衣生活の改善・向上に積極的にとりくもうとする。基礎縫いの確認のための実習において、積極的に取り組む。	・人の一生と被服 ・被服材料と管理 ・これからの衣生活	【知識・技能】 衣服の素材の種類や特徴について知識を身につけ、用途に応じてどんな衣服が適切か理解できる。 【思考・判断・表現】 現在の衣生活をとりまく状況について、自分の衣生活を振り返りながら、課題を導き出すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の衣生活について関心を持ち、衣生活の改善・向上に積極的にとりくもうとする。基礎縫いの確認のための実習において、積極的にとりくもうとする。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
2 学 期	C 経済生活を作る 【知識及び技能】 生活における経済と社会のかかわりについて気づき、消費者として自立できるよう消費者の権利と責任について考え、消費において自主的に行動することの必要性を理解する。 【思考力、判断力、表現力】 日々の暮らしの中で、持続可能な社会をめざした行動をすることができるようになる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の経済的自立を考えながら、短期・長期の経済計画について意欲的にとりくもうとしている。消費行動と環境とのかかわりについて、生活と関連させながら課題をみつめる。	・私たちの暮らしと経済 ・消費者問題を考える ・持続可能な社会をめざして	【知識・技能】 消費行動における意思決定の過程とその重要性について理解でき、契約についての知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 多様化する販売方法や支払い方法について、問題点や解決策を考えることができる。 【思考・判断・表現】 多様化する販売方法や支払い方法について、問題点や解決策を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の経済的自立を考えながら、短期・長期の経済計画について意欲的にとりくもうとしている。消費行動と環境とのかかわりについて、生活と関連させながら課題をみつめようとしている。	○	○	○	12

	D 食生活をつくる 【知識及び技能】 栄養、食品、調理などについて科学的に理解し、食文化に関心を持ち、食品の選択や調理などの技術を習得して、豊かで充実した食生活を営めるようにする。 【思考力、判断力、表現力】 自身の食生活や現在の食生活の課題を発見し、課題解決のために思考し、解決策を考える 【主体的に学習に取り組む態度】 調理実習において、作業の流れを判断しながらとりくむ。	・人の一生と食事 ・栄養と食品 ・食生活の安全のために ・食生活をデザインする	【知識・技能】 栄養・食品に関する科学的な知識や調理の技術を身につけ、それを実際の食生活に生かすことができる。 【思考・判断・表現】 自身の食生活や現在の食生活の課題を発見し、課題解決のために思考し、解決策を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 調理実習において、作業の流れを判断しながらとりくもうとしている。	○	○	○	18
	E 次世代をはぐくむ 【知識及び技能】 子どもの発達と保育、福祉などについて理解するとともに、子どもの健全な発達を支える親の役割と保育の重要性や、社会の果たす役割について考える。 【思考力、判断力、表現力】 どもの生活やとりまく環境、また、現在の子育ての環境や地域社会や国の支援策や課題などについて考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 子どもをとりまく状況について、現状を知り、その課題を見つけ、解決に向けて考える。	・子どもの発達 ・子どもの生活 ・子育て支援と福祉	【知識・技能】子どもの心身の発達や子どもの生活についての知識を身につけている。 【思考・判断・表現】子どもの生活やとりまく環境、また、現在の子育ての環境や地域社会や国の支援策や課題などについて考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】子どもをとりまく状況について、現状を知り、その課題を見つけ、解決に向けて考えようとしている。	○	○	○	13
3 学 期	F 住生活をつくる 【知識及び技能】 住居の機能、家族の家庭生活の場としての住空間の計画、健康や安全に留意した住環境の整備などについて科学的に理解し、住生活の管理や環境整備に必要な技術を習得する。 【思考力、判断力、表現力】 ライフステージと住空間の設計の関係、住環境について考えを深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 住まいの機能、住空間の計画や住環境について関心をもち、快適な住まいづくり、よりよい住生活の創造にむけて意欲的にとりくむ。	・人の一生と住まい ・住生活の計画と選択	【知識・技能】住まいの機能・役割、またライフステージや家族構成などと住まいの関係について理解している。 【思考・判断・表現】ライフステージと住空間の設計の関係、住環境について考えを深めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】住まいの機能、住空間の計画や住環境について関心をもち、快適な住まいづくり、よりよい住生活の創造にむけて意欲的にとりくもうとする。				4
							合計
							70

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 産業社会と人間 科目 産業社会と人間

教科： 産業社会と人間 科目： 産業社会と人間 単位数： 2 単位
対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組
教科担当者：（1 組： ）（2 組： ）（3 組： ）（4 組： ）（5 組： ）（6 組： ）
使用教科書：（ なし ）

教科 産業社会と人間 の目標：
【知識及び技能】 ・地域社会における自己の在り方生き方について考えるために必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、学習に取り組むことの意義や価値を理解している。
【思考力、判断力、表現力等】 ・地域社会と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。
【学びに向かう力、人間性等】 ・地域社会に積極的に寄与し、生涯にわたって学習に取り組む意欲や態度を養うとともに、生徒が主体的に自己の将来の生き方や進路についての考察を行い、履修計画を作成している。

科目 産業社会と人間 の目標：	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	・地域社会における自己の在り方生き方について考えるために必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、学習に取り組むことの意義や価値を理解している。	・地域社会と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。	・地域社会に積極的に寄与し、生涯にわたって学習に取り組む意欲や態度を養うとともに、生徒が主体的に自己の将来の生き方や進路についての考察を行い、履修計画を作成している。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 時 数
1 学 期	【単元1】 様々な価値観に触れながら、自己理解を深め、キャリアに対して主体的に考えられる。	【指導事項】 1. 業種・職種について 2. 上級学校訪問 3. 学生ファシリテータによる進路説明会 4. 選択科目説明会 5. オープンキャンパス事前指導	【知識・技能】 自己を客観的に分析することや、他者の進路に対する考えに触れる活動を通して、キャリアについて理解を深め、各教科・科目の履修計画の作り方を理解している。 【思考・判断・表現】 自己を客観的に分析することや、他者の進路に対する考えに触れる活動の中で、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 自己を客観的に分析することや、他者の進路に対する考えに触れる活動に対して、主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい生き方を考えようとしている。	○	○	○	26
2 学 期	【単元1】 様々な価値観に触れながら、自己理解を深め、キャリアに対して主体的に考えられる。	【指導事項】 1. オープンキャンパス事後指導 2. 高校生活の目標作成	1学期単元1と同一評価	○	○	○	8
	【単元2】 ビジネスアイデアを作成する流れを学ぶ。	【指導事項】 1. ビジネスアイデアはどのように作られるかを知る。 2. ターゲットを定める方法、優れたアイデアを作成する方法を学ぶ。 3. グループでまとめたアイデアをまとめ、表現する。	【知識・技能】 ビジネスアイデアを作成する流れを活用し、課題の発見・解決するために必要な情報の得方や、整理の方法を理解している。 【思考・判断・表現】 ビジネスアイデアを作成する流れを知る学習のなかで、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ビジネスアイデアを作成する流れを知る学習に対して、主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造しようとしている。	○	○	○	10
	【単元3】 地域の思いや課題を知り、自分自身ができることを提案する。	・指導事項 1. 町田市の概要 2. 地域の課題や地域の思い 3. アイディア整理シート作成 4. 中間発表 5. プレゼン資料作成	【知識・技能】 地域社会における自己の在り方生き方について理解している。 【思考・判断・表現】 ビジネスアイデアを作成する流れを活用し、地域社会と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 地域社会に、主体的・協働的に関わろうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとしている。	○	○	○	14
3 学 期	【単元4】 地域の思いや課題を知り、自分自身ができることを提案する。	・指導事項 1. プレゼン資料作成 2. マッチング会	【知識・技能】 地域社会における自己の在り方生き方について理解している。 【思考・判断・表現】 ビジネスアイデアを作成する流れを活用し、地域社会と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 地域社会に、主体的・協働的に関わろうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとしている。	○	○	○	12
							合計
							70

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 公民科 科目 公共

教科： 公民科 科目： 公共 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1組： ） （2組： ） （3組： ） （4組： ） （5組： ） （6組： ）

使用教科書：（ 詳述公共（実教出版） ）

教科 公民科 の目標：

【知識及び技能】 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念とともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権をになう公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したり表現したりしている。	よりよい社会の実現を視野に、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。また、知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うようとしている。また、粘り強い取り組みを行うなかで、自らの学習を調整しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当 時数
第1編公共の扉 第1章社会を作る私たち 【知識及び技能】 青年期の特徴と自己形成の課題、個人・社会・伝統と文化の三つの視点から捉えた人間のあり方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 青年期の特徴と自己形成の課題、個人・社会・伝統と文化の三つの視点から捉えた人間のあり方について、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 青年期の特徴と自己形成の課題、個人・社会・伝統と文化の三つの視点から捉えた人間のあり方について、自分自身の課題としても捉え、主体的に追究している。	ガイダンス 公共の科目特性 中学校公民的分野の復習 1 生涯における青年期の意義 2 青年期と自己形成の課題 3 職業生活と社会参加 4 現代社会と青年の生き方	【知識・技能】 青年期の特徴と自己形成の課題、個人・社会・伝統と文化の三つの視点から捉えた人間のあり方について理解している。 【思考・判断・表現】 青年期の特徴と自己形成の課題、個人・社会・伝統と文化の三つの視点から捉えた人間のあり方について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 青年期の特徴と自己形成の課題、個人・社会・伝統と文化の三つの視点から捉えた人間のあり方について、自分自身の課題としても捉え、主体的に追究している。	○	○	○	6
第1編公共の扉 第2章人間としてよく生きる 【知識及び技能】 現代の諸課題について判断し選択する際の手がかりとなる功利主義や義務論などの考え方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について判断し選択する際の手がかりとなる功利主義や義務論などの考え方を活用して、生命倫理や環境倫理について多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 功利主義や義務論などの考え方を活用して、現代の諸課題について主体的に追究している。	1 ギリシアの思想 2 宗教の教え 3 人間の尊重 4 人間の自由と尊厳 5 個人と社会 6 主体性の確立 7 他者の尊重 8 公正な社会	【知識・技能】 現代の諸課題について判断し選択する際の手がかりとなる功利主義や義務論などの考え方について理解している。 【思考・判断・表現】 現代の諸課題について判断し選択する際の手がかりとなる功利主義や義務論などの考え方を活用して、生命倫理や環境倫理について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 功利主義や義務論などの考え方を活用して、現代の諸課題について主体的に追究している。	○	○	○	6
定期考査			○	○		1

1 学 期	第1編公共の扉 第3章民主社会の倫理 【知識及び技能】 生命にかかわる科学技術の進歩がもたらしたエンハンスメント技術の進展と普及、その倫理的課題を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 エンハンスメント技術は倫理的にどこまで認められるのか、功利主義と義務論の考え方を手がかりに、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 エンハンスメントを例に、生命科学の進歩にかかわる倫理的課題を、功利主義や義務論の考え方を活用しながら主体的に追究している。	1 人間の尊厳と平等 2 自由・権利と責任・義務	【知識及び技能】 生命にかかわる科学技術の進歩がもたらしたエンハンスメント技術の進展と普及、その倫理的課題を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 エンハンスメント技術は倫理的にどこまで認められるのか、功利主義と義務論の考え方を手がかりに、多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 エンハンスメントを例に、生命科学の進歩にかかわる倫理的課題を、功利主義や義務論の考え方を活用しながら主体的に追究している。	○	○	○	2
	第1編公共の扉 第4章民主国会における基本原理 【知識及び技能】 政治における意思決定の方法としての民主主義の意義と課題、直接民主制と間接民主制について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 国民や市民の意思を政治に反映させる民主主義の意義と課題、直接民主制と間接民主制の特色について、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 社会構成員の間の対立を調整し、意思を集約・決定するしくみとしての民主主義の意義と課題について、主体的に追究している。	1 人権保障の発展と民主政治の成立 2 国民主権と民主政治の発展	【知識・技能】 政治における意思決定の方法としての民主主義の意義と課題、直接民主制と間接民主制について理解している。 【思考・判断・表現】 国民や市民の意思を政治に反映させる民主主義の意義と課題、直接民主制と間接民主制の特色について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 社会構成員の間の対立を調整し、意思を集約・決定するしくみとしての民主主義の意義と課題について、主体的に追究している。	○	○	○	2
	第2編よりよい社会の形成に参加する私たち 第1章日本国憲法の基本的性格 【知識及び技能】 近代以降の社会構成の原理である基本的人権の尊重、人間の尊厳と平等の意義、人権の歴史的発展と人権保障の広がりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 社会生活において人権保障が実際に確保されるためには、何が必要か、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 人間の尊厳と平等、人権保障の歴史的発展や現代における人権の広がりについて、主体的に追究している。	1 日本国憲法の成立 2 平和主義とわが国の安全 3 基本的人権の保障 4 人権の広がり	【知識及び技能】 近代以降の社会構成の原理である基本的人権の尊重、人間の尊厳と平等の意義、人権の歴史的発展と人権保障の広がりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 社会生活において人権保障が実際に確保されるためには、何が必要か、多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 人間の尊厳と平等、人権保障の歴史的発展や現代における人権の広がりについて、主体的に追究している。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1

2 学 期	第2編よりよい社会の形成に参加する私たち 第2章日本の政治機構と政治参加 【知識及び技能】 三権分立と国会の地位、国会の役割と権限、国会の構成と運営について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 三権分立と国会の地位、国会の役割と権限、国会の構成と運営について、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 三権分立と国会の地位、国会の役割と権限、国会の構成と運営について、制度の基本理念と実際の政治運営の関係などの観点から、主体的に追究している。	1 政治機構と国民生活 2 人権保障と裁判所 3 地方自治 4 選挙と政党 5 政治参加と世論	【知識・技能】 三権分立と国会の地位、国会の役割と権限、国会の構成と運営について理解している。 【思考・判断・表現】 三権分立と国会の地位、国会の役割と権限、国会の構成と運営について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 三権分立と国会の地位、国会の役割と権限、国会の構成と運営について、制度の基本理念と実際の政治運営の関係などの観点から、主体的に追究している。	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1
	第2編よりよい社会の形成に参加する私たち 第3章現代の経済社会 【知識及び技能】 経済活動の意義、経済循環、市場経済のしくみと政府の役割、国民所得と経済成長、金融のしくみと働き、中央銀行の役割と金融環境の変化、財政の働きと課題、社会保障の考え方と課題について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 経済活動の意義、経済循環、市場経済のしくみと政府の役割、国民所得と経済成長、金融のしくみと働き、中央銀行の役割と金融環境の変化、財政の働きと課題、社会保障の考え方と課題について、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 経済活動の意義、経済循環、市場経済のしくみと政府の役割、国民所得と経済成長、金融のしくみと働き、中央銀行の役割と金融環境の変化、財政の働きと課題、社会保障の考え方と課題について、主体的に追究している。	1 経済社会の形成と変容 2 市場の仕組み 3 現代の企業 4 経済成長と景気変動 5 金融機関の働き 6 政府の役割と財政・租税	【知識及び技能】 経済活動の意義、経済循環、市場経済のしくみと政府の役割、国民所得と経済成長、金融のしくみと働き、中央銀行の役割と金融環境の変化、財政の働きと課題、社会保障の考え方と課題について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 経済活動の意義、経済循環、市場経済のしくみと政府の役割、国民所得と経済成長、金融のしくみと働き、中央銀行の役割と金融環境の変化、財政の働きと課題、社会保障の考え方と課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 経済活動の意義、経済循環、市場経済のしくみと政府の役割、国民所得と経済成長、金融のしくみと働き、中央銀行の役割と金融環境の変化、財政の働きと課題、社会保障の考え方と課題について、主体的に追究している。	○	○	○	12
	第2編よりよい社会の形成に参加する私たち 第4章経済活動のあり方と国民福祉 【知識及び技能】 社会保障の意義と歴史、日本の社会保障制度について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 社会保障の意義と歴史、日本の社会保障制度について、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 社会保障の意義と歴史、日本の社会保障制度について、主体的に追究している。	1 日本経済の歩みと近年の課題 2 中小企業と農業 3 公害防止と環境保全 4 消費者問題 5 労働問題と雇用 6 社会保障	【知識及び技能】 社会保障の意義と歴史、日本の社会保障制度について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 社会保障の意義と歴史、日本の社会保障制度について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 社会保障の意義と歴史、日本の社会保障制度について、主体的に追究している。	○	○	○	6
	定期考査			○	○	○	1

3 学 期	第2編よりよい社会の形成に参加する私たち 第5章国際政治の動向と課題 【知識及び技能】 国際社会の成り立ち，国際連合の役割，日本の平和主義と冷戦，冷戦後の日本，現代の紛争とその影響，国際平和に向けた課題，貿易のしくみ，国際金融のしくみと動向，グローバル化と国際経済，国際経済の諸課題について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 国際社会の成り立ち，国際連合の役割，日本の平和主義と冷戦，冷戦後の日本，現代の紛争とその影響，国際平和に向けた課題，貿易のしくみ，国際金融のしくみと動向，グローバル化と国際経済，国際経済の諸課題について，多面的・多角的に考察し，表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 国際社会の成り立ち，国際連合の役割，日本の平和主義と冷戦，冷戦後の日本，現代の紛争とその影響，国際平和に向けた課題，貿易のしくみ，国際金融のしくみと動向，グローバル化と国際経済，国際経済の諸課題について，主体的に追究している。	1 国際社会における政治と法 2 国家安全保障と国際連合 3 冷戦終結後の国際政治 4 軍備競争と軍備縮小 5 異なる人種・民族との共存 6 国際平和と日本	【知識及び技能】 国際社会の成り立ち，国際連合の役割，日本の平和主義と冷戦，冷戦後の日本，現代の紛争とその影響，国際平和に向けた課題，貿易のしくみ，国際金融のしくみと動向，グローバル化と国際経済，国際経済の諸課題について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 国際社会の成り立ち，国際連合の役割，日本の平和主義と冷戦，冷戦後の日本，現代の紛争とその影響，国際平和に向けた課題，貿易のしくみ，国際金融のしくみと動向，グローバル化と国際経済，国際経済の諸課題について，多面的・多角的に考察し，表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 国際社会の成り立ち，国際連合の役割，日本の平和主義と冷戦，冷戦後の日本，現代の紛争とその影響，国際平和に向けた課題，貿易のしくみ，国際金融のしくみと動向，グローバル化と国際経済，国際経済の諸課題について，主体的に追究している。	○	○	○	9
	定期考査			○	○	○	1
	第2編よりよい社会の形成に参加する私たち 第6章国際経済の動向と課題 【知識及び技能】 南北問題の背景と推移，人口・食料問題，格差の是正に向けた取り組みについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 南北問題の背景と推移，人口・食料問題，格差の是正に向けた取り組みについて，多面的・多角的に考察し，表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 南北問題の背景と推移，人口・食料問題，格差の是正に向けた取り組みについて，主体的に追究している。	1 国際経済のしくみ 2 国際経済体制の変化 3 経済のグローバル化と金融危機 4 地域経済統合と新興国 5 ODAと経済協力	【知識・技能】 南北問題の背景と推移，人口・食料問題，格差の是正に向けた取り組みについて理解している。 【思考・判断・表現】 南北問題の背景と推移，人口・食料問題，格差の是正に向けた取り組みについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 南北問題の背景と推移，人口・食料問題，格差の是正に向けた取り組みについて，主体的に追究している。	○	○	○	6
							合計
							70

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 理科 科目 生物基礎

教 科： 理科 科 目： 生物基礎 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組 選択

教科担当者：（1・2・3・4組： ） （5・6組、選択： ）

使用教科書：（i版 生物基礎 啓林館 ）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
A 単元	【知識及び技能】 - 様々な生物の比較に基づいて、生物は多様でありながら共通性をもっていることを見いだして理解すること。また、生物の共通性と起源の共有を関連付けて理解する。 - 生物とエネルギーに関する資料に基づいて、生命活動にエネルギーが必要であることを理解すること。また、光合成や呼吸などの代謝とATPを関連付けて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 生物の特徴について、観察、実験などを通して探究し、多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	・指導事項 - 生物の多様性 - 生物の共通性 - 生物の進化と系統 - 細胞と個体の成り立ち - 真核細胞の構造 - 原核細胞の構造 - 生命活動とエネルギー - ATPの構造 - 生体内の化学反応と酵素 - 光合成と呼吸 ・教材 教科書紙面からQRコードでアクセスできる動画コンテンツ、アニメーションコンテンツ、一問一答を活用する。	【知識・技能】 - 生物群の系統樹上での類縁関係がわかる。多様な生物の共通点がわかる。 - 単細胞生物の構造とその働き、多細胞生物の器官の働き、細胞と組織の多様性がわかる。 - 細胞小器官の名称と働きを理解し、原核生物と真核生物の共通点と相違点がわかる。 - ATPが果たす役割について理解する。 - 酵素反応の特徴を理解できる。 - 光合成の場である葉緑体と呼吸の場であるミトコンドリアを理解する。 【思考・判断・表現】 - 生物としての共通の特徴をあげることができ、多様な生物群が単一の共通先祖に由来すると考えることができる。 - 単細胞生物の構造と働き、多細胞生物の構造と働きの例をあげることができる。 - 細胞小器官の名称と働きを理解し、原核生物と真核生物の共通点と相違点を考えることができる。 - 代謝におけるエネルギーについて考えることができる。 - 酵素の働きについて考えることができる。 - 細胞内での光合成の場と呼吸の場を葉緑体やミトコンドリアと関連させることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 - 多様な生物に関心を持ち、形態や生活の多様さを知ろうとする意欲を持っている。 - 単細胞生物の構造の多様性と、多細胞生物の細胞と組織の多様性に関心を持つ。 - 細胞小器官の特徴と働きに注目する。 - 生命活動に必要なエネルギーと代謝について調べようとする。 - ATPとエネルギーの移動、酵素の役割について関心を持つ。 - 光合成と呼吸の反応とエネルギーの転換を関連させて考えることができる。	○	○	○	12
定期考査				○	○		1

1 学 期	B 単元 【知識及び技能】 ・ DNAの構造に関する資料に基づいて、遺伝情報を担う物質としての DNA の特徴を見いだして理解するとともに、塩基の相補性と DNA の複製を関連付けて理解する。 ・ 遺伝情報の発現に関する資料に基づいて、DNA の塩基配列とタンパク質のアミノ酸配列との関係を見いだして理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 生物の特徴について、観察、実験などを通して探究し、多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	・ 指導事項 11 生物と遺伝情報 12 DNAの構造と遺伝情報 13 DNA複製 14 DNAと染色体 15 細胞周期とDNA の分配 16 細胞周期とDNA 量の変化 17 遺伝子発現とタンパク質 18 転写と翻訳 19 遺伝暗号表 20 遺伝子発現と維持 ・ 教材 教科書紙面からQRコードでアクセスできる動画コンテンツ、アニメーションコンテンツ、一問一答を活用する。	【知識・技能】 ・ DNAの抽出について理解する。 ・ 遺伝情報の複製は塩基配列の相補的な複製であることが理解できる。 ・ 細胞周期と体細胞分裂の各期の特徴が分かり、遺伝情報の分配の時期がわかる。 ・ 塩基配列と遺伝情報の関係と、アミノ酸配列がタンパク質の種類を決める事を理解する。 ・ 転写と翻訳の過程を理解し、遺伝情報が転写された mRNA の役割を理解することができる。タンパク質が生命現象と関連して多様な働きをしていると考えることができる。 ・ 遺伝情報はほとんどの細胞で維持されているが、遺伝子の発現は調節されていることがわかる。 【思考・判断・表現】 ・ DNA の二重らせん構造における塩基配列が遺伝情報となると考えることができる。 ・ 母細胞の DNA の複製は塩基配列の相補的な複製であることが表現できる。 ・ 細胞周期と染色体の変化の関係を考えることができる。 ・ DNA の塩基配列の情報がタンパク質のアミノ酸配列の情報になると対応することができる。 ・ 遺伝情報である塩基配列が、アミノ酸配列に翻訳されると考えることができる。 ・ 個体を構成する細胞は遺伝的に同一で、部位によって発現する遺伝子が異なると考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 遺伝子が親から子へと伝えられる因子であること、DNA の特徴について関心をもち考えようとする。 ・ DNA が複製されることにより、遺伝情報が伝えられることを調べようとする。 ・ 体細胞分裂と細胞周期が染色体の変化によって観察できることに関心を持つ。 ・ タンパク質について関心をもつ。 ・ RNA とタンパク質の構造、および転写と翻訳のしくみに関心を持つ。 ・ 遺伝情報をゲノムととらえることに関心を持つ。ゲノム医療など最新の医学的話題にも関心を持つ。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1

C 単元 【知識及び技能】 ・体の調節に関する観察、実験などを行い、体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを見いだして理解する。 ・体内環境の維持の仕組みに関する資料に基づいて、体内環境の維持とホルモンの働きとの関係を見いだして理解すること。また、体内環境の維持を自律神経と関連付けて理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・ヒトの体の調節について、観察、実験などを通して探究し、神経系と内分泌系による調節及び免疫などの特徴を見いだして表現する 【学びに向かう力、人間性等】 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	・指導事項 21 恒常性と体液 22 血液凝固と線溶 23 恒常性に関わる神経系 24 自律神経系と脳死 25 ホルモンによる調節 26 ホルモン分泌の調節 27 血糖濃度の変化と糖尿病 28 血糖濃度の調節のしくみ 29 体温と水分量の調節 ・教材 - 教科書紙面からQRコードでアクセスできる動画コンテンツ、アニメーションコンテンツ、一問一答を活用する。	【知識・技能】 ・体内環境とは体液の環境であり、体内環境が一定に保たれていること、つまり恒常性が重要である。体液（血液・リンパ液・組織液）の成分や働き、循環系を理解する。 ・心拍は自律神経によってもアドレナリンというホルモンによっても調節を受けていることを理解する。 ・特定の内分泌腺からは特定のホルモンが分泌され、血液で運ばれてきた細胞に働く。ホルモン量はフィードバック調節されている。 ・血糖濃度とインスリン濃度のグラフからインスリンの効果を読みとることができる。 ・体温調節には、肝臓や筋肉汗腺が重要な働きをしていることがわかる。水分調節はバソプレシンや、鉍質コルチコイドの作用により水が再吸収されることがわかる。 【思考・判断・表現】 ・生物の体内環境が一定に保たれていると考えることができ、循環系と体液の働き（酸素解離や血液凝固など）を考えることができる。 ・動物の恒常性が自律神経により調節されていると考えることができる。 ・ホルモンにより器官の活動が調節されており、その量はフィードバック調節されている。 ・血糖濃度や水分量、体温が、自律神経の働きやホルモンの作用により一定の範囲に保たれていると考えることができる。 ・体液の恒常性における肝臓や腎臓の働きを考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・体内環境の恒常性に関心を持ち、体液の成分、体液の働き、循環に興味を持つ。 ・体内環境の恒常性に自律神経がかかわっていることを調べようとする。 ・多様なホルモンが特定の内分泌腺から分泌されていることに興味を持つ。 ・自律神経とホルモンが共同して恒常性を維持していることに興味を持つ。 ・肝臓や腎臓の機能に関心を持ち、体液の恒常性に果たす役割を知ろうとする。	○	○	○	12
定期考査			○	○		1
D 単元 【知識及び技能】 ・免疫に関する資料に基づいて、異物を排除する防御機構が備わっていることを見いだして理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ヒトの体の調節について、観察、実験などを通して探究し、神経系と内分泌系による調節及び免疫などの特徴を見いだして表現する 【学びに向かう力、人間性等】 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	・指導事項 30 生体防御の概要 31 異物の侵入を阻止するしくみ 32 自然免疫のしくみ 33 獲得免疫の概要 34 細胞性免疫と体液性免疫 35 抗体とその利用 36 免疫記憶とその利用 37 免疫と病気① 38 免疫と病気② ・教材 - 教科書紙面からQRコードでアクセスできる動画コンテンツ、アニメーションコンテンツ、一問一答を活用する。	【知識・技能】 ・生体防御には異物に対する防御と自然免疫、獲得免疫があることを理解する。 ・微生物が共通してもつパターンを認識しての防御反応であることを理解する。 ・免疫寛容に関係するリンパ球の選択を理解する。生体に異物が侵入してから起こる経過を体液性免疫と細胞性免疫にわけて理解する。 ・予防接種、ワクチンと免疫の関係がわかる。 【思考・判断・表現】 ・マクロファージの食作用を観察して免疫について考えることができる。 ・自然免疫を獲得免疫と対比させて考えることができる。 ・体液性免疫と細胞性免疫を説明できる。 ・アレルギーなどの免疫反応を例をあげて説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・免疫とそれにかかわる細胞の働きについて調べようとする。 ・細菌などを食作用で除く生体防御反応である。 ・免疫のしくみに興味を持つ。 ・予防接種や感染症との関連も含めて、免疫に関する話題に興味を持つ。	○	○	○	12
定期考査			○	○		1

3 学 期	E 単元 【知識及び技能】 ・植生の遷移に関する資料に基づいて、遷移の要因を見いだして理解すること。また、植生の遷移をバイオームと関連付けて理解する。 ・生態系と生物の多様性に関する観察、実験などを行い、生態系における生物の種多様性を見いだして理解すること。また、生物の種多様性と生物間の関係性とを関連付けて理解する。 ・生態系のバランスに関する資料に基づいて、生態系のバランスと人為的攪かく乱を関連付けて理解すること。また、生態系の保全の重要性を認識する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生物の多様性と生態系について、観察、実験などを通して探究し、生態系における、生物の多様性及び生物と環境との関係性を見いだして表現する 【学びに向かう力、人間性等】 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	・指導事項 39 環境と生物 40 光の強さと植物 41 森林の階層構造と土壌 42 遷移の過程 43 遷移に伴う環境の変化 44 遷移と世界のバイオーム 45 日本のバイオーム 46 生態系における生物の役割 47 種の多様性と食物連鎖 48 生態系と生態ピラミッド 49 キーストーン種と絶滅 50 生態系のバランスと変動 51 人間活動と生態系 52 生物濃縮 53 外来生物 54 生物多様性と生態系の保全 55 生態系と人間生活 ・教材 教科書紙面からQRコードでアクセスできる動画コンテンツ、アニメーションコンテンツ、一問一答を活用する。	【知識・技能】 ・植物の形態に環境への適応が現れる例があり、光要因も大きな要因のひとつであることが分かる。 ・植生の一次遷移に伴って植物種数や地表照度、土壌の厚さ、土壌有機物%などの変化をグラフ化し、読みとることができる。 ・気温と降水量のデータから各地のバイオームを予想できる。 ・水平分布、垂直分布がわかる。 ・生態系を食物連鎖の関係で把握することができ、それぞれの量的関係を理解できる。 ・キーストーン種について理解できる。 ・生物多様性を保全することの重要性がわかる。 【思考・判断・表現】 ・植物の生活形に影響する環境要因には主に水・土壌・温度・光がある。 ・荒原が草原、森林へと変化してゆく過程には環境要因が関わっていることを考察する。 ・バイオームが成立する際の環境要因について考えることができる。 ・バイオームが成立する際の環境要因と日本の地理的な関係がわかる。 ・生態系の成り立ちと構成要素について具体的な生物をあげて考えることができる。 ・間接効果について考えることができる。 ・生態系を保全することが重要であると考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・植物の生活に影響を及ぼす環境要因を考察する意欲を持つ。 ・植生の変化に注目し、その要因に関心を持つ。 ・世界のバイオームの特色に関心を持つ。 ・生態系をどのように把握できるか関心を持つている。 ・ヒトデを除去すると、生態系を構成する生物の種数が変化することに関心をもち生態系について理解しようとする。 ・環境問題などについて関心をもっている。	○	○	○	17
	定期考查			○	○		1
							合計
							70

高等学校 令和7年度（2学年用）

教科 理科

科目 化学基礎

教科 理科

科目 化学基礎

単位数 2 単位

対象学年組 第 2 学年 1 組～ 6 組

教科担当者（1組： ）（2組： ）（3組： ）（4組： ）（5組： ）（6組： ）

使用教科書（化基704 化学基礎 [実教出版]）

教科 理科

の目標

【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、観察実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学基礎

の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
身近な事物現象に対して興味を持ち、化学的な視点で探究する。化学の基本的な内容、法則等を学び、観察や実験によりこれらの技能を身につける。	身のまわりの事物現象の観察、基本的な化学実験などにより、化学的な力を養成する。	少人数の選択授業であるので、教材を工夫し生徒自身が主体的に取り組むような指導をおこなう。適宜実験をおこない、基本事項を確認するとともに、観察する方法等を学ぶ。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 ・純物質と混合物の性質の違いを利用して、純物質を取り出す方法の原理を理解する。・元素について学び、単体、化合物、同素体について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・物質の分離、精製法がそれぞれのどのような性質を利用しているかについて考える。・物質の状態を構成粒子の熱運動を相互作用によって考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・身のまわりの物質について、その構成粒子から判断できる。	・物質の分類 ・純物質を取り出す方法 ・元素 ・単体と化合物 ・同素体 ・成分元素の検出 ・物質の三態と熱運動 ・状態変化	【知識・技能】 ・純物質の性質および混合物の性質を確認し、性質の違いを利用して純物質を取り出す方法を理解する。・物質を構成する基本的な成分が元素であり、元素の構成から単体と化合物に分類できる。さらに、同素体について理解するとともに、成分元素の確認法を学ぶ。 【思考・判断・表現】 ・授業プリントやエブリィノートを活用して、学習内容を確認する。記載内容を発問形式で確認し、ポイントを指摘する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業プリント、化学基礎ノート等の提出を求め、その記載内容を評価する。・適宜チェックテストを実施する。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	B 単元 【知識及び技能】 ・原子の構造を学び、構成粒子の性質や相互の関係から原子について理解する。・電子配置からイオンの生成について考える。 【思考力、判断力、表現力等】 質量数と同位体、放射性同位体と年代測定などを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 「3.11」や「自然災害への備え」などについて、考える。	・原子とその構造 ・原子の構成粒子 ・質量数 ・同位体 ・放射性同位体と半減期 ・電子配置 ・イオンの生成 ・多原子イオン ・イオン化エネルギー ・電子親和力 ・元素の周期表 ・イオン結合 ・イオン結晶	【知識・技能】 ・原子の構成粒子の性質や特徴、数の関係を学び、質量数や同位体を理解する。・電子配置をもとにイオンの生成について考え、さらにイオン結合へとつなげる。 【思考・判断・表現】 ・授業プリントやエブリィノートを活用して、学習内容を確認する。記載内容を発問形式で確認し、ポイントを指摘する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業プリント、化学基礎ノート等の提出を求め、その記載内容を評価する。・適宜チェックテストを実施する。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
				○	○		7

2 学 期	C 単元 【知識及び技能】 ・共有結合の仕組みについて理解し、配位結合や電気陰性度と極性等について学ぶ。 ・金属結晶の構造や共有結合の結晶の性質など、化学結合について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・共有結合の結合様式から、分子の電子式や構造式を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・原子価を利用して分子式から構造式や電子式を書き示すことができる。	・共有結合 ・分子の形成 ・電子式 ・共有電子対と非共有電子対 ・構造式 ・分子の形 ・配位結合 ・錯イオン ・分子間力と分子結晶 ・極性 ・水素結合 ・金属結合 ・金属結晶の構造	【知識・技能】 ・化学結合について学び、身のまわりの物質の構造を構造式や電子式であらわす。 ・金属の結晶格子について学ぶ。 【思考・判断・表現】 ・授業プリントやエブリィノートを活用して、学習内容を確認する。記載内容を発問形式で確認し、ポイントを指摘する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業プリント、化学基礎ノート等の提出を求め、その記載内容を評価する。 ・適宜チェックテストを実施する。	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1
	D 単元 【知識及び技能】 ・相対質量の概念から原子量を求め、分子量、式量と展開する。 ・物質質量について学び、モル質量やモル体積から量的関係を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 ・分子量、式量、物質量の計算の仕方を確認し問題演習を行う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物質量の計算練習を行う。 ・酸と塩基について学ぶ。	・原子量、分子量、式量 ・物質質量 ・モル質量 ・モル体積 ・物質質量と粒子の数、質量 ・物質質量と気体の体積 ・溶液の濃度 ・溶解度 ・化学反応式 ・化学反応の量的関係 ・酸と塩基	【知識・技能】 ・原子量、分子量、式量、モル質量、モル体積、濃度、溶解度について学ぶ。 ・化学反応式が示す関係を理解する。 ・酸と塩基の性質や特徴を学ぶ。 【思考・判断・表現】 ・授業プリントやエブリィノートを活用して、学習内容を確認する。記載内容を発問形式で確認し、ポイントを指摘する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業プリント、化学基礎ノート等の提出を求め、その記載内容を評価する。 ・適宜チェックテストを実施する。	○	○	○	13
定期考査			○	○	○	1	
3 学 期	E 単元 【知識及び技能】 ・中和反応が H^+ と OH^- から水を生じる反応であることを理解するとともに、同時に生じる塩についても考察する。 ・酸化剤と還元剤の反応を中心に酸化還元反応を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・中和の化学反応式を考える。 ・酸化剤と還元剤の反応を化学反応式であらわす。 【学びに向かう力、人間性等】 ・中和滴定および酸化剤と還元剤の実験を行い、それぞれ化学反応式を基に考察する。	・水素イオン濃度とpH ・中和反応と塩 ・中和反応の量的関係 ・中和滴定 ・酸化と還元 ・酸化数 ・酸化剤と還元剤 ・酸化剤、還元剤の量的関係 ・金属の酸化還元 ・酸化還元反応の応用	【知識・技能】 ・中和反応について学び、中和の量的関係から中和滴定について理解する。 ・酸化還元反応について学び、酸化剤と還元剤の反応について探究する。 ・金属の反応についてイオン化傾向から判断して理解する。 【思考・判断・表現】 ・授業プリントやエブリィノートを活用して、学習内容を確認する。記載内容を発問形式で確認し、ポイントを指摘する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業プリント、化学基礎ノート等の提出を求め、その記載内容を評価する。 ・適宜チェックテストを実施する。	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1
							70

高等学校 令和7年度（2年次用） 教科 理科 科目 物理基礎

教科：理科 科目：物理基礎 単位数：2 単位
対象学年組：第2学年 1組～6組
教科担当者：（ ）
使用教科書：（数研出版「新編 物理基礎」）
教科 理科 の目標：

- 【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 物理基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
身近な事物現象に対して興味を持ち、物理的な視点で探究する。物理の基本的な内容、法則等を学び、観察や実験によりこれらの技能を身につける。	身のまわりの事物現象の観察、基本的な物理実験などにより、科学的な力を養成する。	少人数の選択授業であるので、教材を工夫し生徒自身が主体的に取り組むような指導をおこなう。適宜実習をおこない、基本事項を確認するとともに、観察する方法等を学ぶ。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 運動とエネルギー 【知識及び技能】 速度・等速直線運動について理解させる 【思考力、判断力、表現力等】 速度・等速直線運動を法則を用いて問題を解かせる 【学びに向かう力、人間性等】 速度・等速直線運動について主体的に理解する姿勢を育む	・板書 ・問題プリント、ワーク	【知識・技能】 様々な運動の法則を理解しているか 【思考・判断・表現】 問題演習を通して公式を使用することができるか 【主体的に学習に取り組む態度】 物体の運動を身の回りの現象と関連付けて理解することができているか	○	○	○	5
	B 単元 【知識及び技能】 加速度・等加速度直線運動について理解させる 【思考力、判断力、表現力等】 加速度・等加速度直線運動を法則を用いて問題を解かせる 【学びに向かう力、人間性等】 加速度・等加速度直線運動について主体的に理解する姿勢を育む	・板書 ・問題プリント、ワーク ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 様々な運動の法則を理解しているか 【思考・判断・表現】 問題演習を通して公式を使用することができるか 【主体的に学習に取り組む態度】 物体の運動を身の回りの現象と関連付けて理解することができているか	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	C 単元 【知識及び技能】 落体の運動について理解させる 【思考力、判断力、表現力等】 落体の運動を法則を用いて問題を解かせる 【学びに向かう力、人間性等】 落体の運動について主体的に理解する姿勢を育む	・板書 ・問題プリント、ワーク	【知識・技能】 基本的な物体の運動が理解できているか 【思考・判断・表現】 公式を使って問題を解くことができるか 【主体的に学習に取り組む態度】 物体の運動を身の回りの現象と関連付けて理解することができているか	○	○	○	8
	C 単元 【知識及び技能】 落体の運動 【思考力、判断力、表現力等】 落体の運動 【学びに向かう力、人間性等】 落体の運動	・板書 ・問題プリント、ワーク	【知識・技能】 基本的な物体の運動が理解できているか 【思考・判断・表現】 公式を使って問題を解くことができるか 【主体的に学習に取り組む態度】 物体の運動を身の回りの現象と関連付けて理解することができているか	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1

2 学 期	A 単元 【知識及び技能】 力のはたらきについて理解させる 【思考力、判断力、表現力等】 力のはたらきを法則を用いて問題を解かせる 【学びに向かう力、人間性等】 力のはたらきについて主体的に理解する姿勢を育む	・板書 ・問題プリント、ワーク	【知識・技能】 物体にはたらく力について理解できているか 【思考・判断・表現】 力の三要素を表すことができるか 重力の大きさやフックの法則などを公式を使用し、問題を解くことができるか 【主体的に学習に取り組む態度】 身の回りの物体にはたらく力についてイメージすることができるか	○	○	○	6
	B 単元 【知識及び技能】 運動の法則・摩擦力・圧力について理解させる 【思考力、判断力、表現力等】 運動の法則・摩擦力・圧力を法則を用いて問題を解かせる 【学びに向かう力、人間性等】 運動の法則・摩擦力・圧力について主体的に理解する姿勢を育む	・板書 ・問題プリント、ワーク	【知識・技能】 物体にはたらく力について理解できているか 【思考・判断・表現】 公式を使って問題を解くことができるか 【主体的に学習に取り組む態度】 身の回りの物体にはたらく力についてイメージすることができるか	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	C 単元 【知識及び技能】 仕事・仕事の原理について理解させる 【思考力、判断力、表現力等】 仕事・仕事の原理を法則を用いて問題を解かせる 【学びに向かう力、人間性等】 仕事・仕事の原理について主体的に理解する姿勢を育む	・板書 ・問題プリント、ワーク	【知識・技能】 物体を動かす力について理解できているか 【思考・判断・表現】 仕事の原理の概念を理解することができるか 【主体的に学習に取り組む態度】 物体に対する仕事についてイメージすることができるか	○	○	○	7
	D 単元 【知識及び技能】 エネルギーについて理解させる 【思考力、判断力、表現力等】 エネルギーを法則を用いて問題を解かせる 【学びに向かう力、人間性等】 エネルギーについて主体的に理解する姿勢を育む	・板書 ・問題プリント、ワーク	【知識・技能】 エネルギーについて理解できているか 【思考・判断・表現】 エネルギー保存則を理解し、問題を解くことができるか 【主体的に学習に取り組む態度】 身の回りの物体にはたらくエネルギーについてイメージすることができるか	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
3 学 期	A 単元 【知識及び技能】 熱・熱量について理解させる 【思考力、判断力、表現力等】 熱・熱量を法則を用いて問題を解かせる 【学びに向かう力、人間性等】 熱・熱量について主体的に理解する姿勢を育む	・板書 ・問題プリント、ワーク	【知識・技能】 熱量について理解しているか 【思考・判断・表現】 熱量の保存則を理解し使用することができるか 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な熱の移動について、理解しているか	○	○	○	5
	B 単元 【知識及び技能】 熱と物質の状態について理解させる 【思考力、判断力、表現力等】 熱と物質の状態を法則を用いて問題を解かせる 【学びに向かう力、人間性等】 熱と物質の状態について主体的に理解する姿勢を育む	・板書 ・問題プリント、ワーク	【知識・技能】 熱と物質について理解しているか 【思考・判断・表現】 物質の状態変化を科学的に理解しているか 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な物質変化を例に熱の変化を捉えられているか	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

高等学校 令和7年度（2学年用）

教科 保健体育

科目 体育

教科 保健体育

科目 体育

単位数 2 単位

対象学年組 第 2 学年 1 組～ 6 組

教科担当者 （1組： ） （2組： ） （3組： ） （4組： ） （5組： ） （6組： ）

使用教科書 （ 現代高等保健体育 大修館書店 ）

教科 保健体育

の目標

【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育

の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身に付けている。また、個人及び社会生活における健康・安全について総合的に理解しているとともに、技能を身に付けている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人及び社会生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して総合的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。また、健康を大切に、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	A 単元 体づくり 【知識及び技能】 ①体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気が付き、仲間と自主的に関わり合うことができるようにする。 ②実生活に生かす運動の計画では、ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組むことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとし、話し合いに貢献しようとし、健康・安全を確保することができるようにする。	①体ほぐし運動 ②筋力を高める運動 ③体育祭練習	【知識・技能】 ①定期的、計画的に運動を継続することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながる意義があることを理解している。 ②運動を安全に行うには、関節への負荷がかかりすぎないようにすることや軽い運動から始めるなど、徐々に筋肉を温めてから行うことを理解している。 【思考・判断・表現】 ①のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行うことを通して、気づいたり関わり合ったりすることができる。 ②リズムに乗って心が弾むような運動を行うことを通して、気づいたり関わり合ったりすることができる。 【学びに向かう力、人間性】 ①体づくり運動の学習に主体的に取り組むことができる。 ②仲間に課題を伝え合うなど、互いに助け合い教え合うことができる。	○	○	○	9
	B 単元 【知識及び技能】 ①クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。 ②平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。 ③背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐこと。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとし、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとし、健康・安全を確保すること。	B 単元 【知識及び技能】 ①クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。 ②平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。 ③背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐこと。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとし、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとし、健康・安全を確保すること。	【知識・技能】 ①腕を前方に伸ばし、手のひらが胸の前を通るようなキールホルの形を描くようにして腰や太ももくらいまで大きくかく動き（ロングアームプル）で進むことができる。 ②手の入水時のキック、かき終わりのときのキック及び呼吸動作を一定のリズムで行うことができる。 【思考・判断・表現】 ①選択した泳法について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 ②自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。 ③選択した泳法に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選んでいる。 【学びに向かう力、人間性】 ①水泳の学習に自主的に取り組もうとしている。 ②勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている。 ③仲間と互いに合意した役割について自己の責任を果たそうとしている。 ④一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。 ⑤水泳の事故防止の心得を遵守するなど健康・安全を確保しようとしている。	○	○	○	9

2 学 期	A バレーボール 【知識及び技能】 安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。 A アルティメット 【知識及び技能】 安定したディスク操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。	①パス ②トス ③スパイク ④ゲーム	【知識・技能】 ①種目の特性や成り立ちを理解し取り組むことができる。 ②バレーボールで高まる体力を理解している。 ③バレーボールでの体力の高め方を理解している。 ④技術の名称や行い方を理解し、基本的なボール操作を身に付けることができる。 ⑤技術の名称や行い方を理解し、安定したボール操作で攻防することができる。 ⑥安定したボール操作と空いている場所を作り出すなどの動きでゴール前に侵入し、攻防することができる。 【思考・判断・表現】 ①自分やチームの課題を発見し、課題解決に向けて練習を工夫して実践しようとしている。 ②自分やチームで考えた事を他の人にも伝えるようとしている。 【学びに向かう力、人間性】 ①ゲームや練習に主体的に取り組み、勝敗を競う楽しさを味わうとしている。 ②ルールやマナーを守り、健康・安全に留意して学習しようとしている。 ③一人ひとりの違いに応じたプレイを認め、仲間にアドバイスしたり、助け合ったり教え合ったりしようとしている。				
	A テニス 【知識及び技能】 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。	①ストローク ②ボレー ③スマッシュ ④ゲーム	【知識・技能】 ①戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることを理解している。 ②ボールをねらった場所に投げるができる。 ③打ち返したりすることができる。 【思考・判断・表現】 ①選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えることができる。 ②自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性】 ①球技の学習に自主的に取り組もうとしている。 ②相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。 ③互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとしている。				18

	A 卓球 【知識及び技能】 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話し合いに貢献しようとする。こと、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い教え合おうとするなどや、健康・安全を確保すること。	①ストローク ②サーブ ③スマッシュ ④ゲーム	る。 【知識・技能】 ①戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることを理解している。 ②サービスでは、ボールをねらった場所に打つことができる。 ③ネット付近でボールの侵入を防いだり、打ち返したりすることができる。 【思考・判断・表現】 ①選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えることができる。 ②自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性】 ①球技の学習に自主的に取り組もうとしている。 ②相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。 ③互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとしている。	○	○	○	18
	A 陸上競技 【知識及び技能】 距離走では、自己に適したペースを維持して、一定の距離を走り通し、タイムを短縮したり、競走したりできるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとし、自己の責任を果たそうとし、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。	①長距離走	【知識・技能】 ①技術に関連させた運動や練習を繰り返したり、継続して行ったりすることで、結果として体力を高めることができる。 ②リズムカルに腕を振り、力みのないフォームで軽快に走ることを理解している。②呼吸を楽しむたり、走りのリズムを作ったりする呼吸法を取り入れ走ることができる。 【思考・判断・表現】 ①課題解決の過程を踏まえて、自己や仲間の新たな課題を発見することができる。 ②自己や仲間の課題を解決するための練習の計画を立てることができる。 【学びに向かう力、人間性】 ①陸上競技の学習に主体的に取り組もうとすることができる。 ②一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようすることができる。	○	○	○	9
3学期	A 体育理論 【知識及び技能】 スポーツは、人類の歴史とともに始まり、その理念が時代に応じて多様に変容してきていること。また、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあること。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むこと。	① ライフステージにおけるスポーツの楽しみ方 ②ライフスタイルに応じたスポーツとの関わり方 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むこと。	【知識・技能】 ①スポーツは、人類の歴史とともに世界各地で日常の遊びや生活などから生まれてきたこと、近代になって、スポーツは娯楽から競技に変化し、一般の人びとに広がっていったこと、現代では、競技だけでなく、広く身体表現や身体活動を含む概念としてスポーツが用いられるようになってきており、その理念が時代に応じて多様に変容してきていることを理解している。 【思考・判断・表現】 ①スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスポーツの意義や価値について、事実や理念を整理したり、自己のスポーツへの関わりを見いだしたりして、自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を発見することができる。 【学びに向かう力、人間性】 ①豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に、主体的に取り組もうとすることができる。	○	○	○	7
							合計 70

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教 科： 保健体育 科 目： 保健 単位数： 単 位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者： （ 1 組： ） （ 2 組： ） （ 3 組： ） （ 4 組： ） （ 5 組： ） （ 6 組： ）

使用教科書： （ 現代高等保健体育 大修館書店 ）

教科 保健体育 の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	【知識・技能】 現代社会と健康における事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見することができる。 【思考・判断・表現】 国民の健康課題について、我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し、生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代社会と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明することができる。	思春期と健康生活 性意識と性行動の選択 妊娠、出産と健康 避妊法と人工妊娠中絶 結婚生活と健康	【知識・技能】 現代社会と健康における事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見することができる。 【思考・判断・表現】 国民の健康課題について、我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し、生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代社会と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明することができる。	○	○	○	13
2 学 期	【知識・技能】 健康について日頃から考えていること、病気について・医療について・アンチエイジングについてなど知識を身に付ける。 【思考・判断・表現】 健康について日頃から考えていること、病気について・医療について・アンチエイジングについてなど身近に感じていることから考えさせる。 【主体的に学習に取り組む態度】 健康について日頃から考えていること、病気について・医療について・アンチエイジングについてなど身近に感じていることから考える態度を養う。	現代社会と健康 生涯を通じる健康 健康を支える環境づくり	【知識・技能】 健康について日頃から考えていること、病気について・医療について・アンチエイジングについてなど知識を身に付ける。 【思考・判断・表現】 健康について日頃から考えていること、病気について・医療について・アンチエイジングについてなど身近に感じていることから考えさせる。 【主体的に学習に取り組む態度】 健康について日頃から考えていること、病気について・医療について・アンチエイジングについてなど身近に感じていることから考える態度を養う。	○	○	○	12

3 学 期	【知識・技能】 現代社会と健康における事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見することができる。 【思考・判断・表現】 国民の健康課題について、我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し、生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代社会と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明することができる。	中高年期と健康 働くことと健康 労働災害と健康 大気汚染と健康 保健サービスとその活用	【知識・技能】 現代社会と健康における事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見することができる。 【思考・判断・表現】 国民の健康課題について、我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し、生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代社会と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明することができる。	○	○	○	10
							合計
							35

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 人間と社会 科目 人間と社会

教科：人間と社会 科目：人間と社会 単位数：1 単位

対象学年組：第2学年 1組～6組

教科担当者：（1組： ）（2組： ）（3組： ）（4組： ）（5組： ）（6組： ）

使用教科書：（人間と社会 東京都教育委員会 ）

教科 人間と社会 の目標：
【知識及び技能】予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必
【思考力、判断力、表現力等】社会現実に照らし、よりよい生き方を選択することができるよう、自己と社会との関わりから課題を見だし
【学びに向かう力、人間性等】演習や体験活動に主体的・協働的に取り組むことによって、人間としての在り方生き方に対する自覚を深め、

科目 人間と社会 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける。	社会現実に照らし、よりよい生き方を選択することができるよう、自己と社会との関わりから課題を見だし、情報を集め、整理・分析して多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それを基に議論したりする力を養う。	演習や体験活動に主体的・協働的に取り組むことによって、人間としての在り方生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、互いのよさを生かしながら、社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 単元 様々な価値観に触れながら、自己理解を深め、キャリアに対して主体的に考えられる。	【指導事項】 ・1年間を振り返る ・非認知能力について知る ・非認知能力で自身を分析する ・キャリアアンカー ・ブランドハップスタンス	【知識・技能】 自己を客観的に分析することや、他者の進路に対する考えに触れる活動を通して、キャリアについて理解を深め、社会的・職業的自立の仕方を理解している。 【思考・判断・表現】 自己を客観的に分析することや、他者の進路に対する考えに触れる活動の中で、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 自己を客観的に分析することや、他者の進路に対する考えに触れる活動に対して、主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい生き方を考えようとしている。	○	○	○	8
	B 単元 グラウンドの芝生の管理作業を地域住民と行うことで、学校の特色を生かし、地域に誇れる学校にすることが「まちづくりの推進」につながることを理解する。	【指導事項】 ・芝生の管理作業について知る ・芝生の管理作業を行う	【知識・技能】 グラウンドの芝生の管理作業を地域住民と行うことで、学校の特色を生かし、地域に誇れる学校にすることが「まちづくりの推進」につながることを理解する。 【思考・判断・表現】 社会現実に照らし、よりよい生き方を選択することができるよう、自己と社会との関わりから課題を見だし、情報を集め、整理・分析して多面的・多角的に考察する力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 芝生の管理作業に主体的・協働的に取り組むことによって、人間としての在り方生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、互いのよさを生かしながら、社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。	○	○	○	6
	C 単元 「人間と社会」の目標を踏まえて修学旅行の事前学習を行うことで、よりよい社会を実現しようとする態度を育む。	【指導事項】 ・修学旅行の事前指導を行う。 ・修学旅行の下調べを行う	【知識・技能】 修学旅行に向けて現地での学びを深められるように調べ学習を行う。 【思考・判断・表現】 自分たちが定めた修学旅行の課題テーマに即して、各自で仮説を立てることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 修学旅行の目的を理解し、学びを深めることができる課題テーマを設定しようとしている。	○	○	○	12

夏休み・2学期	D 単元 町田市探究で関わった団体が主催するイベントに参加することで、町田市探究で学習した内容を深化させる。	【指導事項】 ・体験活動 ・体験活動報告会	【知識・技能】 町田市探究で関わった団体が主催するイベントに参加することで、キャリアについて理解を深め、各教科・科目の履修計画の作り方を理解している。 【思考・判断・表現】 自己を客観的に分析することや、他者の進路に対する考えに触れる活動の中で、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 自己を客観的に分析することや、他者の進路に対する考えに触れる活動に対して、主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい生き方を考えようとしている。	○	○	○	3
	F 単元 進学に必要な資金、社会生活で必要な資金について学び、社会的職業的に自立しようとする態度を養う。	【指導事項】 ・主権者について考える	【思考・判断・表現】 社会現実には照らし、よりよい生き方を選択することができるよう、自己と社会との関わりから課題を見だし、情報を集め、整理・分析して多面的・多角的に考察する力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 主権者としての権利を考えることに主体的・協働的に取り組むことによって、人間としての在り方生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、互いのよさを生かしながら、社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。	○	○	○	4
3学期	G 単元 主権者としての権利について学び、社会的職業的に自立しようとする態度を養う。	【指導事項】 ・主権者について考える。	【知識・技能】 主権者としての権利について理解を深め、社会的・職業的自立の仕方を理解している。 【思考・判断・表現】 社会現実には照らし、よりよい生き方を選択することができるよう、自己と社会との関わりから課題を見だし、情報を集め、整理・分析して多面的・多角的に考察する力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 主権者としての権利を考えることに主体的・協働的に取り組むことによって、人間としての在り方生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、互いのよさを生かしながら、社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。				2
							合計 35

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 探究 科目 探究

教科：探究 科目：探究 単位数：1 単位

対象学年組：第2学年 1組～6組

教科担当者：（1組：）（2組：）（3組：）（4組：）（5組：）（6組：）

使用教科書：（）

教科 探究 の目標：

- 【知識及び技能】探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

科目 探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解している。	実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。	探究に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・進路に応じた科目を選択する。	・進路を見据えた科目選択	【知識・技能】 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解している。 【思考・判断・表現】 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。	○	○	○	6
	本校では、科目「人間と社会」、「探究」をそれぞれ一単位ずつ設置しており、日ごとの学習内容によって、取扱い科目を分けている。1学期においては、「人間と社会」の内容を多くを占めるため、科目「探究」の配当時間が少なくなっている。						
2 学 期	・IBL Dayを通じて、多面的な見方・考え方を獲得するとともに、探究のプロセスを練習する。	・探究学習導入 ・IBL Day事前学習 ・IBL Day ・IBL Day事後学習	【知識・技能】 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解している。 【思考・判断・表現】 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。 【学びに向かう態度】 探究に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとしている。	○	○	○	10
	・課題研究のテーマを決める。	・完成された論文を読む ・自己分析 ・課題研究テーマ決め	【知識・技能】 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解している。 【思考・判断・表現】 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。 【学びに向かう態度】 探究に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとしている。	○	○	○	8

3 学 期	・課題研究において、課題や調査方法、仮説を考える。	・探究する課題設定 ・課題研究計画作成	【知識・技能】 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解している。 【思考・判断・表現】 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。 【学びに向かう態度】 探究に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとしている。	○	○	○	6
	・課題研究において、課題や調査方法仮説を発表する。	・仮説発表会	【知識・技能】 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解している。 【思考・判断・表現】 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。 【学びに向かう態度】 探究に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとしている。	○	○	○	5
							合計
							35

高等学校 令和7年度（3 学年用） 教科 地歴公民科 科目 地理総合

教 科： 地歴公民科 科 目： 地理総合 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1 組： ） （2 組： ） （3 組： ） （4 組： ） （5 組： ） （6 組： ）

使用教科書： 高校生の地理総合 帝国書院、標準高等地図 帝国書院（ ）

教科 地歴公民科 の目標：

- 【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史にかかわる事象の意味や意義、特色や相互の関連を概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会にみられる課題の解決に向けて構想したりする力やそれらをもとに議論する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史にかかわる諸事情について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理にかかわる諸事情に関して、世界の生活文化の多様性や防災への取り組みなどを理解するとともに調査や諸資料から地理に関する様々な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理にかかわる事象の意味や意義、特色や相互の関連を位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して概念などを考察したり議論したりする力を養う。	地理にかかわる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、世界の諸地域を尊重することの自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A単元 地図や地理情報システムでとらえる現代世界 【知識及び技能】日本や世界に関わる地理情報について、地図、諸資料及び諸技術等を活用しながら理解させる 【思考力・判断力・表現力】日本や世界の諸問題について「問い」を立て、改善解決に向けて考察した結果を適切に表現させる 【学びに向かう力、人間性等】自身で又は他者とのペア、グループの学習をとおして課題に向き合わせる	①地球儀と地図の活用 ②緯度経度、時差 ③地理情報システム ④国家間の結びつき ⑤観光	【知識及び技能】日本や世界の諸問題について、地図、諸資料及び諸技術等を活用しながら理解している 【思考力・判断力・表現力】日本や世界の諸問題について「問い」を立て、改善解決に向けて考察した結果を適切に表現している 【学びに向かう力、人間性等】自身で又は他者とのペア、グループの学習をとおして課題に向き合っている	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1
	B単元 世界の地形と人々の生活 【知識及び技能】世界の大山脈や大平原が、なぜそこに、どのようにできてきたのかについて理解している。 【思考力・判断力・表現力】世界の大山脈や大平原の形成過程や、それらの地形が人々の生活にどのような影響を与えているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】大規模な地形が人々の生活に影響を与えている様子について、恩恵となる部分を踏まえながら主体的に追究し、課題を見いだしている。	1 生活と地形の関わり 2 河川がつくる地形と人々の生活 3 海岸の地形と人々の生活 4 氷河地形・カルスト地形・乾燥地形と人々の生活	【知識及び技能】狭まる境界と広がる境界の違いが理解できているか。 【思考力・判断力・表現力】地形の特徴と人々の暮らしを結び付けてその影響を説明できているか。 【学びに向かう力、人間性等】その地形がある場所に住むと仮定した際に必要な対策を考えられているか。	○	○	○	7
	C単元 世界の気候と人々の生活 【知識及び技能】それぞれの地域がどの気候区分に属しているかを理解できる。 【思考力・判断力・表現力】気候の特徴と人々の暮らしを結び付けてその影響を説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】その気候の場所に住むと仮定した際に必要な対策を考えられる。	1 生活と気候の関わり 2 熱帯の気候と人々の生活 3 乾燥帯の気候と人々の生活 4 温帯の気候と人々の生活 5 亜寒帯・寒帯の気候と人々の生活	【知識及び技能】それぞれの地域がどの気候区分に属しているかを理解できているか。 【思考力・判断力・表現力】気候の特徴と人々の暮らしを結び付けてその影響を説明できているか。 ○ ○ 【学びに向かう力、人間性等】その気候の場所に住むと仮定した際に必要な対策を考えられているか。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1

2 学 期	D単元 多様な生活文化と地理的環境 【知識及び技能】多民族国家として中国をとらえたうえで、経済発展が人々の生活に影響を与えてきたことについて理解している。 【思考力・判断力・表現力】言語や宗教、歴史に着目しながら、中国の経済発展が人々の生活をどのように変化させたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】多民族国家としての中国における経済発展が、人々の生活の変化として現れていることについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。	1 多民族国家における経済発展—中国— 2 多様な食文化とその変化—中国— 3 巨大な人口と暮らしの変化—中国— 4 都市生活と広がる格差—中国— 5 経済発展を支える産業と生活の変化—韓国—	【知識及び技能】 多民族国家として中国をとらえたうえで、経済発展が人々の生活に影響を与えてきたことについて理解しているか。 【思考力・判断力・表現力】 言語や宗教、歴史に着目しながら、中国の経済発展が人々の生活をどのように変化させたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現しているか。 【学びに向かう力、人間性等】 多民族国家としての中国における経済発展が、人々の生活の変化として現れていることについて、主体的に追究し、課題を見いだしているか。	○	○	○	12
	定期考查			○	○	○	1
	E単元 地球的課題と国際協力 【知識及び技能】 地球的課題が生じている場所や要因、課題どうしが相互に関係し合っていることを理解している。 【思考力・判断力・表現力】 地球的課題がどこで、どのように生じているのかや、解決のためにどのような取り組みがなされているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 持続可能な開発を実現するために必要な取り組みや国際協力のあり方について、主体的に追究し、課題を見いだしている。	1 人口問題 2 食料問題 3 都市・居住問題 4 感染症・衛生問題 5 資源・エネルギー問題 6 地球環境問題	【知識及び技能】 地球的課題が生じている場所や要因、課題どうしが相互に関係し合っていることを理解しているか。 【思考力・判断力・表現力】 地球的課題がどこで、どのように生じているのかや、解決のためにどのような取り組みがなされているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現しているか。 【学びに向かう力、人間性等】 持続可能な開発を実現するために必要な取り組みや国際協力のあり方について、主体的に追究し、課題を見いだしているか。	○	○	○	14
	定期考查			○	○	○	1
3 学 期	F単元 日本の自然環境 【知識及び技能】 自然災害が生じる場所と要因、日本の自然災害の特徴、生活のなかにみられる防災・減災への取り組みを理解している。 自然災害の発生場所や要因、日本の自然災害の特徴、生活のなかにみられる防災・減災への取り組みを見いだすための、地理的見方・考え方を身につけている。 【思考力・判断力・表現力】 どのような自然災害がどのような場所で生じるのかや、日本の自然災害にはどのような特徴があるのか、どのような防災・減災への取り組みがなされているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 自然環境には災害と恩恵の両側面があり、人々が生活していくうえで必要な防災・減災に向けた備えについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。	1 地震・津波のしくみと被害 2 地震・津波災害と地域の取り組み 3 火山の恵みと噴火による被害 4 火山災害と地域の取り組み 5 地震・津波や火山活動への対策と共生の道 6 さまざまな気象災害 7 気象災害と地域の取り組み 8 気象災害への対策と備え 9 減災への取り組みと被災地への支援	【知識及び技能】 自然災害が生じる場所と要因、日本の自然災害の特徴、生活のなかにみられる防災・減災への取り組みを理解しているか。 自然災害の発生場所や要因、日本の自然災害の特徴、生活のなかにみられる防災・減災への取り組みを見いだすための、地理的見方・考え方を身につけているか。 【思考力・判断力・表現力】 どのような自然災害がどのような場所で生じるのかや、日本の自然災害にはどのような特徴があるのか、どのような防災・減災への取り組みがなされているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現しているか。 【学びに向かう力、人間性等】 自然環境には災害と恩恵の両側面があり、人々が生活していくうえで必要な防災・減災に向けた備えについて、主体的に追究し、課題を見いだしているか。	○	○	○	12
	G単元 生活圏の調査と地域の展望 【知識及び技能】 生活圏の調査にあたって、仮説の立て方や調査結果の検証の方法、発表のしかたを理解している。 【思考力・判断力・表現力】 現地調査の結果をどのように分析・整理するのか、多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 生活圏の調査の結果を地域に還元し、よりよい社会を築いていくことについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。	1 地理的な調査テーマの設定 2 事前調査と現地調査 3 調査結果の分析と仮説の検証 4 調査結果のまとめと地域づくりへの参画	【知識及び技能】 生活圏の調査にあたって、仮説の立て方や調査結果の検証の方法、発表のしかたを理解しているか。 【思考力・判断力・表現力】 現地調査の結果をどのように分析・整理するのか、多面的・多角的に考察し、表現しているか。 【学びに向かう力、人間性等】 生活圏の調査の結果を地域に還元し、よりよい社会を築いていくことについて、主体的に追究し、課題を見いだしているか。	○	○	○	6
							合計 70

高等学校 令和7年度(3学年用) 教科 体育 科目 体育

教 科： 体育

科 目： 体育

單位數： 3 單位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1組： ） （2組： ） （3組： ） （4組： ） （5組： ） （6組： ）

使用教科書：（現代高等保健体育）

教科 体育 の目標：

【知 識 及 び 技 能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身に付けている。また、個人及び社会生活における健康・安全について総合的に理解しているとともに、技能を身に付けている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人及び社会生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して総合的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。また、健康を大切に、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 体づくり 【知識及び技能】 ①体はぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と自主的に関わり合うことができるようにする。 ②実生活に生かす運動の計画では、ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組むことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとし、話し合いに貢献しようとし、安全を確保することができるようにする。	①体はぐし運動 ②筋力を高める運動 ③体育祭練習	【知識・技能】 ①定期的、計画的に運動を継続することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながる意義があることを理解している。 ②運動を安全に行うには、関節への負荷がかかりすぎないようにすることや軽い運動から始めるなど、徐々に筋肉を温めてから行うことを理解している。 【思考・判断・表現】 ①のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行うことを通して、気づいたり関わり合ったりすることができる。 ②リズムに乗って心が弾むような運動を行うことを通して、気づいたり関わり合ったりすることができる。 【学びに向かう力、人間性】 ①体づくり運動の学習に主体的に取り組むことができる。 ②仲間に課題を伝え合うなど、互いに助け合い教え合うことができる。	○	○	○	18
	B 単元 【知識及び技能】 ①クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。 ②平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。 ③背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐこと。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとし、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとし、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとし、安全を確保すること。	①クロール ②平泳ぎ ③背泳ぎ	【知識・技能】 ①腕を前方に伸ばし、手のひらが胸の前を通るようなキールホールの形を描くようにして腰や太ももくらいまで大きくかく動き（ロングアームブル）で進むことができる。 ②手の入水時のキック、かき終わりのときのキック及び呼吸動作を一定のリズムで行うことができる。 【思考・判断・表現】 ①選択した泳法について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 ②自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。 ③選択した泳法に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選んでいる。 【学びに向かう力、人間性】 ①水泳の学習に自主的に取り組もうとしている。 ②勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている。 ③仲間と互いに合意した役割について自己の責任を果たそうとしている。 ④一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。 ⑤水泳の事故防止の心得を遵守するなど健康・安全を確保しようとしている。	○	○	○	18

2 学 期	c バドミントン・テニス・卓球 【知識及び技能】 安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。	バドミントン ①ドライブ ②ヘアピン ③スマッシュ ④ゲーム 卓球 ①ストローク ②サーブ ③スマッシュ ④ゲーム 卓球 ①ストローク ②サーブ ③スマッシュ ④ゲーム	【知識・技能】 ①種目の特性や成り立ちを理解し取り組むことができる。 ②技術の名称や行い方を理解し、基本的なボール操作を身に付けることができる。 ③技術の名称や行い方を理解し、安定したボール操作で攻防することができる。 ④安定したボール操作と空いている場所を作り出すなどの動きでゴール前に侵入し、攻防することができる。 【思考・判断・表現】 ①自分やチームの課題を発見し、課題解決に向けて練習を工夫して実践しようとしている。 ②自分やチームで考えた事を他の人にも伝えるようとしている。 【学びに向かう力、人間性】 ①ゲームや練習に主体的に取り組み、勝敗を競う楽しさを味わうとしている。 ②ルールやマナーを守り、健康・安全に留意して学習しようとしている。 ③一人ひとりの違いに応じたプレイを認め、仲間にアドバイスしたり、助け合ったり教え合ったりしようとしている。	○	○	○	18
	A バレーボール・バスケットボール・卓球 【知識及び技能】 安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。	バレーボール ①パス ②トス ③スパイク バスケットボール ④ゲーム ①パス ②ドリブル ③シュート ④ゲーム 卓球 ①ストローク ②サーブ ③スマッシュ ④ゲーム	【知識・技能】 ①種目の特性や成り立ちを理解し取り組むことができる。 ②技術の名称や行い方を理解し、基本的なボール操作を身に付けることができる。 ③技術の名称や行い方を理解し、安定したボール操作で攻防することができる。 ④安定したボール操作と空いている場所を作り出すなどの動きでゴール前に侵入し、攻防することができる。 【思考・判断・表現】 ①自分やチームの課題を発見し、課題解決に向けて練習を工夫して実践しようとしている。 ②自分やチームで考えた事を他の人にも伝えるようとしている。 【学びに向かう力、人間性】 ①ゲームや練習に主体的に取り組み、勝敗を競う楽しさを味わうとしている。 ②ルールやマナーを守り、健康・安全に留意して学習しようとしている。 ③一人ひとりの違いに応じたプレイを認め、仲間にアドバイスしたり、助け合ったり教え合ったりしようとしている。	○	○	○	18
	A バスケットボール 【知識及び技能】 安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。						
	A サッカー、ソフトバレー、ソフトボール 【知識及び技能】 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。	サッカー ①パス ②シュート ③ゲーム ソフトバレー ①パス ②レシーブ ③スパイク ソフトボール ①スローイング ②キャッチ ③バッティング ④ゲーム	【知識・技能】 ①種目の特性や成り立ちを理解し取り組むことができる。 ②技術の名称や行い方を理解し、基本的なボール操作を身に付けることができる。 ③技術の名称や行い方を理解し、安定したボール操作で攻防することができる。 ④安定したボール操作と空いている場所を作り出すなどの動きでゴール前に侵入し、攻防することができる。 【思考・判断・表現】 ①自分やチームの課題を発見し、課題解決に向けて練習を工夫して実践しようとしている。 ②自分やチームで考えた事を他の人にも伝えるようとしている。 【学びに向かう力、人間性】 ①ゲームや練習に主体的に取り組み、勝敗を競う楽しさを味わうとしている。 ②ルールやマナーを守り、健康・安全に留意して学習しようとしている。 ③一人ひとりの違いに応じたプレイを認め、仲間にアドバイスしたり、助け合ったり教え合ったりしようとしている。	○	○	○	18

3 学 期	A 体育理論 【知識及び技能】 スポーツは、人類の歴史とともに始まり、その理念が時代に応じて多様に変容してきていること。また、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあること。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むこと。	① ライフステージにおけるスポーツの楽しみ方 ② ライフスタイルに応じたスポーツとの関わり方 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むこと。	【知識・技能】 ① スポーツは、人類の歴史とともに世界各地で日常の遊びや生活などから生まれてきたこと、近代になって、スポーツは娯楽から競技に変化し、一般の人びとに広がっていったこと、現代では、競技だけでなく、広く身体表現や身体活動を含む概念としてスポーツが用いられるようになってきており、その理念が時代に応じて多様に変容してきていることを理解している。 【思考・判断・表現】 ① スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスポーツの意義や価値について、事実や理念を整理したり、自己のスポーツへの関わりを見いだしたりして、自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を発見することができる。 【学びに向かう力、人間性】 ① 豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に、主体的に取り組もうとすることができる。	○	○	○	15
							合計

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 課題研究 科目 課題研究

教 科： 課題研究 科 目： 課題研究 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1 組： ） （2 組： ） （3 組： ） （4 組： ） （5 組： ） （6 組： ）

使用教科書：（ なし ）

教科 課題研究 の目標：

【知 識 及 び 技 能】 多様な教科・科目の選択履修によって深められた知的好奇心などに基づいて自ら課題を設定する。

【思考力、判断力、表現力等】 課題の解決を図る学習を通して、問題解決能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。

【学びに向かう力、人間性等】 自己の将来の進路選択を含め人間としての在り方生き方について考察する。

科目 課題研究 の目標：	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	多様な教科・科目の選択履修によって深められた知的好奇心などに基づいて自ら課題を設定する。	課題の解決を図る学習を通して、問題解決能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。	自己の将来の進路選択を含め人間としての在り方生き方について考察する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A パソコンの使用方法について 【知識及び技能】 パソコンの使用方法を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 効率的な入力方法を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 論文作成に必要な力を身に付ける。	・指導事項 パソコンの使用方法 ・教材 タイピング練習ワークシート ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 パソコンの使用方法が理解できた。 【思考・判断・表現】 効率的な入力方法を工夫することができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 論文作成に必要な力を身に付けることができた。	○	○	○	4
	図書館の使用方法について 【知識及び技能】 文献・インターネットの検索方法を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 論文作成の流れを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 著作権について理解を深める。	・指導事項 論文作成のための図書館利用方法 ・教材 都立高校の生徒のためのラーニングスキルガイド ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 文献・インターネットの検索方法を知ることができた。 【思考・判断・表現】 論文作成の流れを理解することができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 著作権について理解を深めることができた。	○	○	○	4
	B 第1章の下書き・入力 【知識及び技能】 文献による調査方法を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 論文作成に必要な文献を選ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 文献調査により第1章を完成させる。	・指導事項 文献調査の方法 ・教材 引用の記入方法ワークシート ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 文献による調査方法を知ることができた。 【思考・判断・表現】 論文作成に必要な文献を選ぶことができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 文献調査により第1章を完成させることができた。	○	○	○	8
	第2章の下書き・入力 【知識及び技能】 体験的調査方法について知る。 【思考力、判断力、表現力等】 中間グループ内発表により表現力をつける。 【学びに向かう力、人間性等】 体験的調査を分析し論文に活かす。	・指導事項 体験的調査方法 ・教材 体験的調査方法についてのワークシート ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 体験的調査方法について知ることができた。 【思考・判断・表現】 中間発表により、表現力を身に付けることができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 体験的調査を分析し、論文に活かすことができた。	○	○	○	8
2 学 期	C 第3章、おわりに・入力 【知識及び技能】 論文のまとめ方や参考文献の記入方法を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 論文を読み返し文章校正を行う。 【学びに向かう力、人間性等】 論文を完成させ、発表につなげる。	・指導事項 参考文献記入方法 ・教材 論文チェックシート ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 論文のまとめ方や参考文献の記入方法を知ることができた。 【思考・判断・表現】 論文を読み返し、文章校正を行うことができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 論文を完成させ、発表につなげることができた。	○	○	○	14
	D 口頭試問・班内発表 【知識及び技能】 論文を整理し準備を進め、口頭発表を行う。 【思考力、判断力、表現力等】 口頭試問での質問に適切に答える。 【学びに向かう力、人間性等】 口頭試問の内容を論文に活かす。	・指導事項 口頭試問・発表に向けての取り組み方 ・教材 発表に向けてのワークシート ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 論文を整理し準備を進め、口頭発表を行うことができた。 【思考・判断・表現】 口頭試問での質問に適切に答えることができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 口頭試問の内容を論文に活かすことができた。	○	○	○	16
3 学 期	E 自分の将来に生かす 【知識及び技能】 情報収集について注意点を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な職業の特徴をつかむ。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の進路活動を振り返る。	・指導事項 情報収集について ・教材 職業調査についてのワークシート ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 情報収集について注意点を知ることができた。 【思考・判断・表現】 様々な職業の特徴をつかむことができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の進路活動を振り返ることができた。 体験的調査を分析し論文に活かすことができた。	○	○	○	8
	探究のまとめ（振り返り） 【知識及び技能】 探究のプロセスについて確認する。 【思考力、判断力、表現力等】 探究活動で得たものを確認する。 【学びに向かう力、人間性等】 新たな探究課題を確認する。	・指導事項 探究のプロセスについての確認 ・教材 探究振り返りのワークシート ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 探究のプロセスについて確認することができた。 【思考・判断・表現】 探究活動で得たものを確認することができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 新たな探究課題を確認することができた。	○	○	○	8
							合計 70